

指 導 案

小学校 2 年国語 「なりきり音読げきをしよう」

小学校 5 年社会 「自然災害を防ぐ」

小学校 6 年国語 「言葉は動く」

中学校 1 年数学 「変化と対応」

中学校 2 年国語 「いにしえの心を訪ねる仁和寺にある法師
『徒然草』 から～兼好法師の価値観を捉え
て論じよう」

小学校2年国語

1. 単元名 なりきり音読げきをしよう「お手紙」(光村図書二年下)

2. 単元の目標

- (1) 物語に興味をもち、進んで作品を読もうとしている。【関心・意欲・態度】
- (2) 場面の様子がよく分かるように、正確に音読することができる。【「C読むこと」(1)ア】
- (3) 音読を通して、登場人物の気持ちの変化や情景を想像することができる。【「C読むこと」(1)ウ】
- (4) 物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。【「C読むこと」(1)オ】
- (5) 想像したことから書くことを決め、もらった人がうれしくなるような手紙を書くことができる。【「B書くこと」(1)ア】

3. 単元設定の理由

がまくんへ

かえるくんから、はじめてのお手紙をもらえてよかったね。かえるくんは、がまくんのために、おおいそぎで家へ帰ったんだよ。そんなやさしい親友がいたから、しあわせになれたんだね。もっといっぱい、ほかの人たちからもお手紙もらえるといいね。
(がまくんに宛てたY子の手紙より)



本学級の子どもたちは、1年生時、授業中でも暴言が飛び交い、誰かが話をしていても常に騒がしい状態であったと聞いていた。2年生になり、本学級を担任することになったときにまず取り組んだのが、授業改善であった。「授業と学級の雰囲気は相互作用する」という考えのもと、注意したいことは山ほどあっても、その多くは胸にしまっておき、ひたすら授業改善に取り組んだ。中でも国語科は、言葉によって互いを知るという、「学級づくり」において欠かせない要素をもつ教科として、力を入れてきた。その結果、暴言が減り、授業中に床に寝そべっている子や立ち歩く子もいなくなり、集中して取り組む時間も増えた。国語の学習の中で、最も大事にしてきたことは、一人一人の「声づくり」である。その中心活動である音読学習では、全員が意欲的に取り組み、様々な音読方法によって、登場人物の気持ちの変化に気付いたり、場面のイメージを膨らませたりすることができた。また、それらの学習の中で、かかわり合いが生まれ、相手の考えを大切にする気持ちも育ってきた。

本単元では、「なりきり音読げき発表会をしよう」という単元を貫く言語活動を設定している。子どもたちの目標は、「なりきり音読げき発表会にむけて音読名人になる」ことである。なりきって音読するためには、登場人物がどんな気持ちなのかを考える必要があり、そのために様々な音読に取り組みな

から登場人物の気持ちを想像していく。一方、教師のねらいは、その「物語の大体をとらえ、場面の様子や登場人物の気持ちを想像する力」をつけることであり、そのために単元を貫く言語活動を設定しているのである。本教材「お手紙」は、手紙がもらえず落ち込むがまくんとそれをなんとか励まそうとするかえるくんの心の交流が描かれた友情の物語である。かかわり合いが生まれ、相手の考えを大切にするとする気持ちも育ってきた子どもたちに、ほのぼのとした温かさを感じさせたい。また、この物語は、テンポの良い会話や反復表現によってユーモラスな形で展開されていく。登場人物の気持ちや人柄も、そうした会話文の中によく表れている。子どもたちは、それぞれの人物になりきって音読する楽しさを味わいながら、登場人物の気持ちを想像することができるだろうと考えた。

4. 単元展開の概要（全12時間）

次・時	学習活動	指導	評価規準（評価方法）
1次 (2時間)	1. 学習計画を立てる。 2. 場面を分ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読後、初発の感想を交流させ、一文にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">音読名人になって、「なりきり音読げき発表会」をひらこう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読げき発表会に向けて学習計画を立てさせることで、今後の学習の見通しをもたせる。 ・ ①いつ（時）、②どこ（場所）、③だれ（人物）の3つの変化を根拠にして、場面を分けさせる。 	①物語に興味をもって進んで読み、音読劇に表そうとしている。（発言やつぶやき、ワークシートから）
2次 (6時間)	3. 様々な音読をしながら、がまくんとかえるくんの気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しく音読できるように、「マル・テン読み」「リレー読み」「パーフェクト読み」「たけのこ読み」等の「すらすら型音読」を用いながら、音読させる。 ・ 「イメージ型音読」を用いながら、がまくんとかえるくんの気持ちを想像させる。 <p>【場面分け劇化読み】動作化しながら、場面の様子や移り変わりを考えさせる。</p> <p>【挿絵提示読み】挿絵を使って、場面の様子を読み取らせる。</p> <p>【セリフ読み】がまくんやかえるくんの会話文に続くセリフを考えさせ、心情を想像させる。</p> <p>【役割読み】がまくん、かえるくん、かたつむりくん、地の文の4役に分けて読ませ、登場人物の気</p>	②言葉や文の意味を理解し、正しくすらすらと音読している。（音読の様子から） ③場面の様子、会話や心情表現などを表す文・語句に着目し、登場人物の気持ちの変化や場面の様子を想像しながら音読している。（発言、音読、ワークシートから） ④物語を読んで、思ったことや音読を交流し合い、友だちと

		もちを想像させる。 ・ワークシートを使い、学習を振り返らせ、「分かったこと・できたこと」を確かめさせる。	の感じ方の違いに気づいている。(発言、ワークシートから)
3次 (4時間)	4. 「なりきり音読げき発表会」開く。 5. 登場人物にお手紙を書く。	・読みとったことを生かして、グループごとに音読げきの練習をさせる。 ・「音読げき練習用ワークシート」「音読げき発表会の進め方ワークシート」を用意する。 ・「なりきり音読げき発表会」開き、友だちの音読のよさを交流させる。 ・友達のよいところを「ほめほめカード」に書かせる。 ・「がまくん」「かえるくん」「かたつむりくん」の中から、手紙を書く人物を選ばせ、もらった相手がうれしくなるような手紙を書かせる。	⑤だれに何を書こうか考え、手紙にふさわしい形式で書いている。(手紙から)

5. 子どもの姿

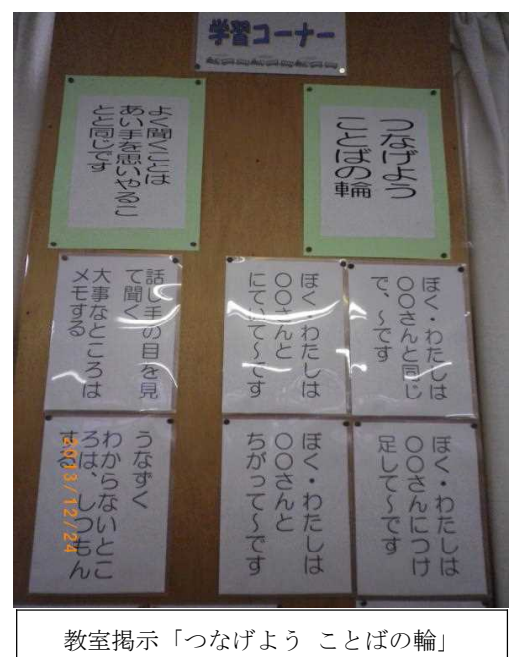
(1) 友達の声に耳を傾けることから始まる「声づくり」

「授業と学級の雰囲気は相互作用するもの」と捉えている。学級づくりをしていく上で大切な要素の一つとなるのが、国語科で行っている「声づくり」である。「声づくり」は、音読学習であり、話し方・聞き方の学習である。これまで、「声づくり」のために、声を出す場を多く設定してきた。

一人一人の声がつかられていくと、授業が活性化し、それは学級の雰囲気にも影響する。声をつくることによって、子どもたちは自信をもち、表現意欲をもつようになる。また、友達を認めることができるようになる。そして、互いにかかわり合うことができるようになっていく。

Y子の声は、まだ自信のなさそうな小さな声であるが、それでも、これまでの「声づくり」によって少しずつ自分の考えを発言できるようになってきている。Y子のような声の小さな子に対して周りの子たちが、「もっと大きな声で言ってください」と言うのではなく、やさしさをもって静かに耳を傾ける子に育てたい。そんな願いをもって、指導を続けてきた。周りに耳を傾ける姿勢は、発言しようとするY子に、「私の声もみんなちゃんと聴いてくれるんだ」という安心感を与え、Y子の自信を育てることにつながっている。

教室には、「つなげよう ことばの輪」という右の写真のような掲示がある。子どもたちはこれらの話型を意識しながら、友達とかかわり合う発言している。また、その隣には、「よく



教室掲示「つなげよう ことばの輪」

聞くとことは、相手を思いやることと同じです」という言葉が掲げられている。Y子の学習を見えないところで支えたのは、そうした周りの友達の思いである。

(2) 単元を貫く言語活動

本単元では、「なりきり音読げき発表会をしよう」という単元を貫く言語活動を設定している。子どもたちは、「なりきり音読げき発表会にむけて音読名人になる」ことを目指し、様々な音読に取り組みながら登場人物の気持ちを想像していく。一方、教師のねらいは、「場面の様子や登場人物の気持ちを想像する力」をつけることであり、そのために単元を貫く言語活動を設定しているのである。

12月13日（金）Y子の日記

「お手紙」のなりきり音読げきがありました。わたしのはんは、一ぱんです。一ぱんはさいごだったのでドキドキしました。（中略）げきがおわったあとのかんそうの時、「なりきりになっていた」と言ってくれるひとがいたので、とてもうれしかったです。（後略）

「なりきり音読げき発表会」が目標の子どもたちは、登場人物になりきって音読するために、その登場人物がどんな気もちなのかを考えなければならない。そのために取り組む「登場人物の気持ちを想像していく様々な音読」は、必要感があり、子どもたちは、単元を通して、一貫した学習意欲と学習目標をもつことができた。様々な音読によって、友達とかかわり合いながら、がまくんとかえるくんの気もちを考えた子どもたちは、これまでの学習を活かしながら、発表会で伸び伸びと自分の読みを声に表現していった。上のY子の日記には、「なりきり音読げき発表会」のドキドキ感と、友達にほめてもらえたうれしさが綴られている。

(3) 初発の感想と学習のまとめを一文で書く

学習の出発にあたって、子どもたちが何を感じているのか把握するために、初発の感想を大事にした。しかし、「思ったことを何でも自由に書いて」というのではなく、初発の感想でも「自分に最も強く語りかけてきたことは何か、短くまとめてみよう」と発問した。また、単元の終わりには、初発の感想と同じように一文で書かせた。「一文で書く」とは、「中心人物が、出来事によって、どう変容したか」ということである。物語の基本形は、多くがこのような形で表すことができる。そして、これを書かせるだけで、その子がお話の内容をどれだけ読み深めているかを見ることができると考えたのである。

がまくん が お手紙をもらったことがないこと によって お手紙をまつこと になる お話



がまくんとかえるくん が お手紙 によって 二人がとつてもしあわせ になる お話


これは、Y子の「初発の感想」と「学習のまとめ」を一文で書いたものである。この二つを比較すると、Y子の学んだ証を見ることができる。一貫した学習意欲と学習目標をもち、「なりきり音読げき発表会」に向けて学習していったY子は、単に「がまくんがお手紙をまつお話」という解釈から、「二人がとつてもしあわせになるお話」という解釈へと、読みを深めることができたのである。この「二人が」と「とつても」という二つの言葉に、Y子の学んだ証が込められていると思われる。

(4) 音読を通して登場人物の気持ちを考える【挿絵提示読み】【役割読み】

これまで学習した20種類の音読方法の中から、本單元では、以下の音読を選び、行った。

①正しく読むことを目的とした「すらすら型」の音読 「マル・テン読み」「リレー読み」「たけのこ読み」	まず、「すらすら型」の様々な音読方法を用いて繰り返し音読させた。
②登場人物の気持ちを想像することを目的とした「イメージ型」の音読 「場面分け劇化読み」「挿絵提示読み」「セリフ読み」「役割読み」	ただ「三回読みなさい」という指示では飽きてしまう子でも、様々な音読をしていくことで、知らず知らずのうちに何度も読むことになる。そして、何度も繰り返し読むことで、物語の大体が自然に体の中に入っていく。次に、「イメージ型」の音読で、もう一段階上の「想像を膨らませながら登場人物の心情や場面の様子を読み取る音読」を重ねていった。

「挿絵提示読み」は、挿絵を使って、場面の様子を読み取らせる音読方法である。また、「役割読み」は、登場人物ごとに役割を分担して読ませることで、登場人物の気持ちを想像させる音読方法である。以下は、第8時の一場面である。

	<p>【挿絵提示読み】</p> <p>T: P14の挿絵は、どこで出すといいかな？先生が本文を読むので、「ここだ」と思った時に、教科書の挿絵を上挙げてね。</p> <p>*教師が音読をする。子どもたちは、それぞれ思ったところで、教科書の挿絵を掲げる。</p>
<p>T: どうしてそこで挿絵を出したの？</p> <p>T: ほんとだね。でも、なんで二人ともこんなに幸せな気持ちなのかな？</p>	<p>C1: ぼくは、14ページの6行目で上げました。さし絵も「とてもしあわせそうに」すわっていたからです。</p> <p>C2: C1君につながっていて、前、「ふしあわせな気持ち」で6ページで、座っていて…。</p> <p>C3: ぼくは、C1君が言っていたように、座っているから、そこだと思いました。</p> <p>C4: 「それから、ふたりは、げんかんに出て」のところで迷ったけど、ぼくは、「すわっていました」のところで上げました。</p> <p>C5: ぼくもC1君と同じところで、さし絵には二人で肩を組んでいるから。</p> <p>C6: わたしは、C5君とC1君を合体させて、二人とも肩を組んでいるし、口がにっこりしているから。</p> <p>(中略)</p> <p>*この後、「しあわせな気持ち」に焦点をあて、「どうして二人は、しあわせな気持ちになったのか」について考えさせていった。(後略)</p>
<p>【役割読み】</p> <p>*「ああ」「とてもいいお手紙だ」(P13-14)の叙述を、がまくんになりきって音読練習する。</p> <p>T: みんな「ああ」「とてもいいお手紙だ」をどんなふうにしたのかな？だれか代表してやりました。</p>	

い人いますか？ * A子が元気よく手を挙げる。 * A子が音読した後、自然と拍手がおこる。

T: A子さんの音読, 上手だったね。どんなところがよかった？

T: 「心」ってどんな心？	C7: 「とても」と「いい」の間に、「間(ま)」をあけていてよかった。 C8: A子ちゃんがなんでうまかったのかというと、心を考えていたから。 C9: 「ああ」のところに、「ありがとう」の気持ちを込めて読んでいるんじゃないかな。
T: だれに「ありがとう」の気持ちを込めたの？	C10: かえるくん。 C11: 心の中でお礼を言っている。 C12: C11君につながっていて、お礼を、やさしい気持ちで言っている。
T: A子さんはどんな気持ちで読んだの？	C13: A子ちゃんは、C11君とC12君が言ったことの合体で読んだ。 A子: 「本当にうれしく思っている」という気持ちで読みました。 (後略)

C1からC6の発言を見てみると、挿絵を提示した理由を叙述に求めていることがうかがえる。こうした学びの姿から、「どこで挿絵を提示するか」を考えさせることは、叙述を追わせ、物語の筋を考えさせることにつながるということがわかった。また、P14の二人の幸せそうな挿絵に着目させることで、「しあわせな気持ち」に焦点があたり、「どうして幸せな気持ちになったのか」を考えさせることもできた。

「役割読み」では、A子の音読のよさをみんなで出し合うことで、がまくんの気持ちにまで迫ることができた(C7~C13の発言)。この学びの姿からは、「役割読み」をした友達の音読のよさについて考えさせることは、登場人物の気持ちを考えさせることにつながるということがわかった。Y子は、この時、発言することはなかったが、うなずきながら友達の発言を聞いていた。そして、授業の終わりに書くワークシートには、「わたしもA子ちゃんみたいにじょうずに読めるようになりたいです。」と書いた。

小学校 5 年 社会

1. 小単元名

自然災害を防ぐ

2. 単元展開

	小単元・本時の問い	○おもな学習活動	◆指導上の留意点・資料
つ か む	①森の恵み	○森林から得られる食料や水などから、森林の大切さをとらえる。	◆林業については後の単元で扱うため、深くふれない。 ワークシート
	②森林の大切さを考える 【本時】 「岡谷市の同じ地区なのに、なぜ被害の大きさに違いが出たのだらう。」	○岡谷市の土砂崩れの資料を見て、同じ地区なのに被害の違いが出たことについて考える。 ・森林があれば土砂崩れが防げると思ったのに。 ・ここだけ森林が崩れていない。 ・山の栄養が違ったのかな。 ○根の写真資料の比較から、森林の保全が防災に不可欠であることをとらえる。	◆見やすい映像で、木の根の写真などが比較しやすいようにしておく。 ◆友達の意見も聞きながら追究できるように、隣同士でお互いの考えを聞きあう時間を設ける。 デジタル教科書・ワークシート
調 べ る	③災害を防ぐために1 「他の災害から身を守るためにどうしたら良 いだろうか。」	○我が国に被害をもたらす自然災害には、様々な種類があることを新聞記事などから確認する。 ○自然災害の多さから、その被害の防止について関心を高め、災害時にどの情報(警報など)が出されたら避難するのかシミュレーションし、防災の意識を高める。	◆多くの新聞資料などを準備しておく。 ワークシート
	④災害を防ぐために2	○自然災害の被害を防ぐための情報(注意報や警報、避難勧告や緊急地震速報など)の発信の理由やその意味の理解をする。	◆自分の身を守るための備えを考えさせる。
ま と め	⑤地域みんなで災害を防ぐ①	○これまでの学習をもとに、自然災害の被害を防止するために自分たちにできることを発表する。 ・防災グッズを常備し、全員がありがを確認しておく。 ・防災訓練に参加する。 ・近所の人とのつき合いを大切にする。 ・地域の防災マップなどを活用し、家族と話し合っ て防災計画や避難計画を立てる。 ・自分たちが住む地域の「ハザードマップ」を作成する。	◆日之影町や濱口梧陵の事例から、自然災害の防止には、公助だけでなく、共助や自助も重要であることを考えさせる。 ◆ハザードマップにどのような内容を加えるべきか、国語の単元で学習したことも考えさせる。 ハザードマップワークシート
	⑤地域みんなで災害を防ぐ②	○自分たちが住んでいる自治体が作成したハザードマップを参考に、自分たちの地域ハザードマップを作成する。	◆必要に応じて、過去の災害に関する情報を、市役所や消防署に確認しておく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で学習した「百年後のふるさとを守る」(光村書店)の内容を思い出し、過去にこの地域で起こった災害の場所や、災害に関する言い伝えなども地図に加える。
--	---

3. 本時案「森林の大切さを考える」

① ねらい

森の恵みについて学習した児童が、岡谷市の土砂災害で被害が大きかった場所と被害が少なかった場所の写真を比較し、被害の規模が違った理由を考えることを通して、森林管理の重要性を確認し、自然環境を整えることが防災につながることをとらえることができる。

② 本時の位置(全5時間中の第2時)

前時：森林の大切さを考えた。

次時：他の災害から身を守るためにどうしたら良いか考える。

③ 展開案

段階	学習活動	予想される児童の反応	指導・支援 評価	時間
導入	<p>2006年に岡谷市湊地区で発生した土砂災害について確認する。</p> <p>同じ地区で、土砂災害がくい止められている場所を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅まで押し流されて、すごい力だな。 ・森林があれば災害を防げると思ったのに。 ・同じ地区なのに不思議だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害のあった斜面の写真資料を提示・配布。 ◎理科の「流れる水のはたらき」で学習した、台風などで大雨が降った際の状況などを思い起こす。←予習として家庭学習で復習させる。 	10
展開	<p>学習問題 岡谷市の同じ地区なのに、なぜ被害の大きさに違いが出たのだろう。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・木の成長も関係しているのかな。 ・山の栄養が違ったのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の見聞も聞きながら追究できるように、隣同士でお互いの考えを聞きあう時間を設ける。 	
	<p>学習課題 土砂災害後の斜面の写真から、土砂災害をくい止めることができたのはなぜかを考えてみよう。</p>			
	<p>自分の考えを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その場所だけコンクリートで固められていた。 ・地面が固かった。 	<p>木の根の写真が比較しやすいように、映像資料と配付用の資料を準備しておく。</p>	30

	<p>被害のあった場所の木 の根と、被害を食い止めた 木の根の写真を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よく見ると木の根の太さが 違う気がする。 ・木の根が太いところは土砂 災害をくい止めることができ ているね。 	<p>自分なりの考えをまとめ、 表現することができているか。 (ワークシートへの記入と グループ学習、発言の様子から)</p>	
まとめ	<p>森林の管理は、災害を防ぐ ために必要なことを確認 する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ木が生えていてもだ めなんだね。 ・自然もきちんと管理して おけば、災害を防ぐ事ができ るんだね。 	<p>森林を管理することは水資源 や林業だけでなく、防災とい った面から重要であることを 確認する。</p>	5

土石流災害

2006年7月19日明け方、「ゴゴゴゴ」
高さ3メートル以上の水や土砂、岩が一気に押し寄せ、坂を下ってきた。

豪雨が引き金となって岡谷市湊地区に発生した土石流は、住宅などを押し流し諏訪湖畔まで達し、住民7人もの命をのみこみま



した。家屋は厚さ30cm以上の土砂で埋まり、泥のなかで横倒しになった車が見られるなど、土石流は大きな被害をもたらしました。

手入れされた森林が土砂災害を防ぐ

[集落に住む小口さんの話]



被害にあった集落の上流部に小さな土砂が崩れたところがありました。そのくずれた土砂がまわりの土をけずりながら、土石流となって流れ下りたのです。

[森林組合の人の話]

山に木があると災害を防いでくれるのですが、間伐などの手入れがきちんとされていないと、土石



流などの災害を防ぐことができないこともあります。写真の木の根を、よく見てください。左の木の根は、間伐が遅れていて根が細く土砂崩れが起きやすい状態です。右の木の根は、間伐が行われていて根も太く、土石流などを食い止める力も大きいのです。



直径5cmの根1本で、直径1cmの根16本分の土砂崩れを防ぐ力があります。この地区でも、上流の森林が間伐が行われていたところは、左の写真のように、ほとんど土石流が発生しませんでした。

小学校6年国語

1. 単元名 「言葉は動く」

2. 単元の目標

- 文章の内容を的確に読み取り要点をまとめたり、例や筆者の考えなどとの関係をとらえて自分の考えを明確にしながら読むことができる。
- 文章を読んで考えたことや調べたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができる。

3. 単元展開の構想

学習問題・課題	学習活動（内容）	時間
1 昔と今の言葉の変化について考えよう。	・昔と今とで変わった言葉を見つけたり調べたりする。	1
	・変化していると思った言葉を紹介し合い、感想を話し合い学習問題を定める。	1
	・なぜ、言葉が変わっていったのか自分の予想をもつ。	1
	・「言葉は動く」を読み、なぜ変わったか、どのように変わったかが分かる部分を大段落に分ける。	1
	・大段落ごとに要約しながら自分たちが見つけたり調べたりした言葉がどの変化なのかを分類する。	3
	・筆者の伝えたいことを要約する。	1
2 学習をしてさらに知りたくなったことや考えたことについて調べ、言葉についての自分の意見をまとめよう。	・「言葉は動く」を学習してきてさらに知りたくなったことについて調べる。	1
	「それぞれの分類にもっといろいろな言葉を集めたいな」、「3つには分類しきれなかったのがあるよ。それはどういう変化なのか知りたいな」、「頭に関係する言葉とか、ことわざとかを調べてみたいな。何か共通することがあるかもしれない」、「言葉の使い方でも伝わり方が違うから、そういうことも考えてみたいな」	
	・「言葉は動く」のように要点と例とを分けて書きながら、自分の考えをまとめる。	1
	・原稿作りをする。	1
	・原稿の推敲をする。	1
	・発表し、感想を述べ合う。	2

4 本時案

(1) わらい

なぜ言葉が変わってきたのか知りたいと願ひ、大段落一を要約しようとしている子どもたちが、「つまり」という言葉に着目したり、例の部分がどこかを考えたりすることを通して、大段落一を要約し、日本人の暮らし方の変化によって変わった言葉を分類することができる。

(2) 本時の位置（全15時間中の第5時）

- ・前時・・・大段落ごとに要旨をまとめ始めた。
- ・次時・・・大段落目を要約し、時間の経過によって呼び名が変化した言葉を分類する。

(3) 指導上の留意点

- ①自分たちが調べた言葉を要約に当てはめて分類しようとする中で、筆者の伝えたいことが納得できるようにする、
- ①大事な部分が見つげにくい子どもには、例の部分に線を引くなど、要約につながるキーワードと例とを分けられるように支援する。

(4) 展開

	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・支援と評価
導 入	1 本時の活動を確認する。	学習問題 なぜ言葉は変化するのか、大段落一を要約して、言葉を分けよう。 ○「いろいろあるけど、どれがいいんだろう」 ・「あれは、長すぎるんじゃないかな」 ・「あれだと、何が言いたいかわく分からないよ」 学習課題 大段落一は、どう要約すると筆者の伝えたいことを一言でまとめたことになるのだろう。	7	○子どもたちがまとめた文をいくつか紹介し、まとめ方の違いに気づくようにする。 ・大段落一を読み、内容を思い出す。
展	2 「つまり」や例の部分に着目して要約の仕方を話し合う。	○どの部分が一番大事なんだろう。 それが分かるのはどこからかな。	18	○「子どもたちの考えを出し合う中で、「つまり」という言葉に着目している児童がいたらとりあげ、「つまり」の意

開	<p>3 要約したことをもとに、暮らし方の変化によって変化した言葉を分類する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来語が伝わってきて言葉が変わったのはあると思うけど、それを使うようになったってことが大事ではないんじゃないかな。外来語になっていなくても、着物から服みたいに変わっているものもあるよ。 ・例で挙げている部分は、まとめて言っていることじゃないから、入れなくていいと思う。 ・「つまり」っていう言葉は、まとめて言うときに使うから、「つまり」の後に書いてあると思う。 ・「暮らし方が変わることで、それらを表す言葉も変わる」というのも同じことだからいいと思う。 ・自分の要約には足りない部分があったから付け足そう。 ・例の部分はとって一言でまとめよう。 <p>○要約したことや例を参考に、暮らし方の変化によって変化した言葉を見つけていこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「睦月→一月」は、暦が変わったからだから、これだね。 ・「お手洗い→トイレ」は、洋式のトイレを使うようになってきたから変わってきたんじゃないかな。 ・「台所→キッチン」は、そうだと思うなりおしゃれ 	<p>味や文章の中での役割について考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つまり」に着目する児童がいない場合には、要約の学習の中でキーワードになった言葉を思い出すように促す。 ・例の部分とまとめている部分とを分けて見ることで、筆者の伝えたいことが見えやすいようにする。 <p>○もう一度自分の要約を考える時間をとる。</p> <p>「つまり」という言葉に着目したり例とまとめの部分とを分けて考えたりすると大事なことが短くまとめられることに気づき、自分の要約を見直そうとしていたか、つぶやきや発言、学習カードからとらえる。</p> <p>1 5 ○日本人の暮らし方変わったことが言葉が変わる原因になっているかを話しながら決めていくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに相談しながら進める。 ・判断に困った言葉については、全体に相談するようにする。 <p>要約したことを元に言葉を吟味して分けることができたか、班</p>
---	---	--	---

<p>終末</p>	<p>4 本時の学習のまとめをし、次時の学習活動を確認する</p>	<p>な洋風の台所が増えてるから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「首飾り→ネックレス」もそうだと思う。洋服をきるようになっているから、ネックレスっていうようになったんじゃないかな。 ・「寝間着→パジャマ」は、昔は寝るとき着物だったかもしれないけど、今は洋服だから。 ・「寺子屋→学校」は、明治時代になって仕組みが変わったからだね。 <p>・要約するときには、例と分けて考えるといいんだなと思った。</p> <p>・「つまり」みたいにまとめている言葉を探していくと要約しやすそうだった。</p> <p>・暮らし方が変化したことで変わった言葉が分かった。まだ、はっきりしないがあるので、他の理由も調べていきたい</p>	<p>の話し合いの様子や、学習カード、発言からとらえる。</p> <p>○要約することに視点を当てた感想と分類に視点を当てた感想の両方を扱うようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのおかげで気づいたことなどが話されたときは共感していく。
-----------	-----------------------------------	--	--

中学校1年数学

1. 単元名

「変化と対応」(小単元名 「反比例」)

2. 小単元の目標

具体的な数量の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を表・式・グラフをつかって調べることを通して、反比例の関係について理解を深める。

3. 本時のねらい

複数の表の中から反比例の関係を選ぶ場面で、 x と y の関係を式に表したり、 x と y の値の変化や対応を調べたりすることを通して、反比例の表だと判断した理由や、反比例の表ではないことの原因を説明することができる。

4. 小単元の展開の概要(6時間扱い)

学習活動	指導・支援	評価、「解決の視点やアイデア」	時														
<p>方眼紙に面積が 6cm^2 の長方形をかこう。横の長さを $x\text{cm}$、縦の長さを $y\text{cm}$ として、x の値を変えると、それに伴って y の値はどうなるだろうか。</p>		<p>評価：反比例の関係に関心を持ち、その関係を表・式にすることができる。</p>	1														
<p>長方形の面積を 6cm^2 に保ちながら横と縦の長さを変化させ、いろいろな長方形をかく活動から、伴って変わる二つの数量を見出し、「反比例」について知る学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ x と y の関係を調べるためには何が必要であるかを問い、表を用いることと、その表を変化や対応で試みるように促す。 ・ この関係が $y = a/x$ という式で表されることを理解する。 	<p>二つの数量の関係を調べるために表をつくり、表を変化と対応でみる</p>															
<p>前時の表の特徴をまとめよう。</p> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>x</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>y</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1.5</td> <td>1.2</td> <td>1</td> </tr> </table>	x	1	2	3	4	5	6	y	6	3	2	1.5	1.2	1		<p>評価：反比例の特徴を理解する。y が x に反比例するかどうかの判断基準①式の形が $y = a/x$ になるか確かめる。②表を変化で見て x の値を2倍・3倍すると y の値が $1/2$ 倍・$1/3$ 倍か、表を対応で見て x と y の積が一定かどうか確かめる。</p>	1
x	1	2	3	4	5	6											
y	6	3	2	1.5	1.2	1											
<p>反比例の表から、反比例の特徴を見出し、その特徴をまとめる学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の学習を振り返り、反比例の表から、その特徴を見出すように促し、生徒の言葉としてまとめる。 																
<p>複数の表から反比例の関係を調べ、判断した理由を記述したり、説明したりする学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の形や、表の変化と対応から、反比例の特徴と一致するかどうかを調べるように促す。 ・ 「y の値が減ると、反比例だ」という 	<p>評価：二つの数量の関係が反比例であるかどうかを判断し、式や表の変化と対応の特徴をとらえ、自分なりにその理由を説明</p>	1 本 時														

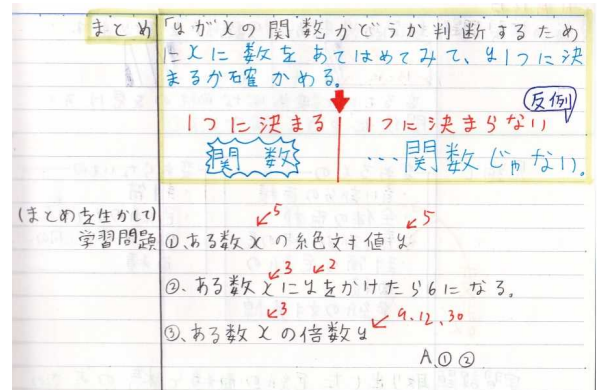
	思い込みを揺さぶる活動を仕組む。	することができる。	
y は x に反比例し、 $x=4$ のとき $y=2$ です。 y と x の関係を式に表そう。		評価：反比例の式を求めることができる。	1
反比例の式を求める学習	・比例の式を求めるときに用いた考え方が使えないか問い、 x と y の値が1組わかればよいことに気付く。	反比例の式を求めるために x と y の値を式 $y=a/x$ に代入する。	
		評価：反比例の関係をグラフに表すことができる。	2
反比例の表をもとにして、対応する値を図に書き入れましょう。 x の値を細かくとると、どうなるでしょうか。			
反比例のグラフ	・負の数の範囲にまで拡張しても、値を細かくすれば、反比例の関係がグラフに表せることを知る。	表の対応する点を「座標」とみれば、グラフをかくことができる。	

5. 生徒の具体の姿と考察

①課題を把握する場面で、「解決の視点やアイデア」を振り返りながら、提示された複数の表を、式の形や表の変化と対応で捉えようとした生徒の姿

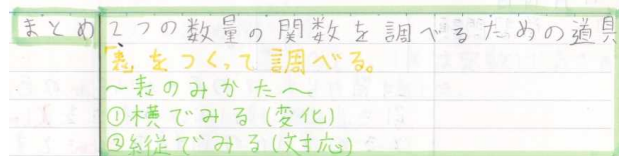
【図1】

S生は、二つの数量の関係が関数であるかどうかを判断する学習において、 x に具体的な数をあてはめてみたときに、 y の値が一つに決まるかどうかを確かめる活動を行い、【図1】のようにまとめた。



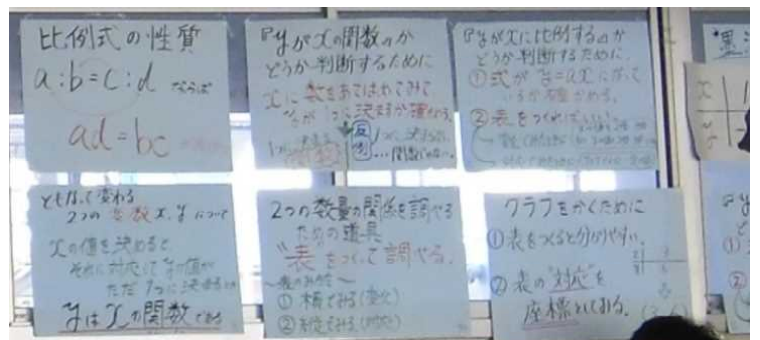
【図2】

さらに、S生は、伴って変わる二つの数量の関係を調べる学習において、調べる手段として表を用いればよいこと、さらには、その表の見方（表を横でみること＝“変化”でみる、表を縦でみること＝“対応”でみる）を確認し、【図2】のようにまとめた。



【写真1】

【写真1】は、授業の終末段階でまとめた内容を、「解決の視点やアイデア」として教室に掲示した様子である。こうすることで、生徒たちは、いつでも自分たちの学びを振り返ることができる。



本時では、課題把握の場面で、前時までに蓄積してきた「解決の視点やアイデア」を振り返らせる活動を仕組んだ。

【学習問題】 反比例の関係を表している表を選びましょう。その理由も説明しましょう。

A					B					C				
x	1	2	3	4	x	1	2	3	4	x	1	2	3	4
y	3	6	9	12	y	-12	-6	-4	-3	y	12	9	6	3



(A表についてT生が比例であることを説明し、式が $y = 3x$ となることを確認後)

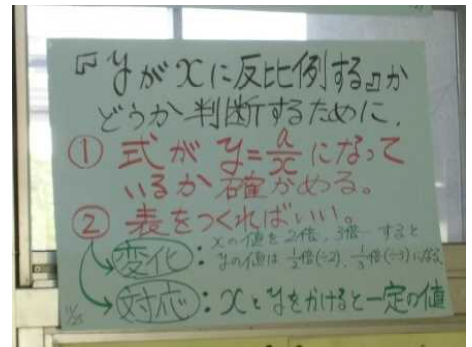
T1 : T君が言ってくれたように、A表は、 x の値を2倍、3倍…すると、 y の値が2倍、3倍…になっているから比例ですね。だから、Aは除きますよ。BとCについて考えればいいですね。反比例かどうかを判断するには、どんなことが言えればいいのか。

F生 : x の値が2倍、3倍になると、 y の値が $\div 2$ 、 $\div 3$ になる。

T2 : そうですね。F君はどの「解決の視点やアイデア」を使ったか分かりますか。K君はどれだと思いますか。

K生 : 「解決の視点やアイデア」【写真2】を指差す

T3 : 以前にまとめたものですね。このどれかにあてはまれば、反比例と判断して良いですよ。これを参考にすれば、B表とC表が反比例かどうか判断して、その理由を説明できますね。



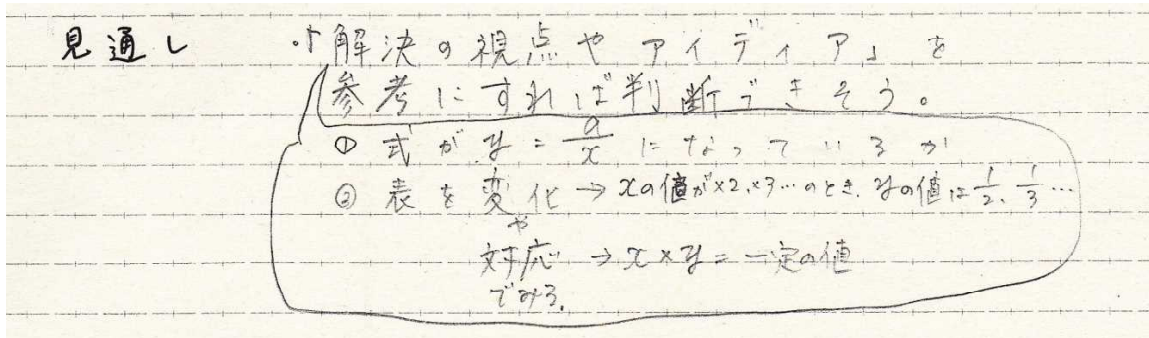
【写真2】

【学習課題】 「式の形を調べたり、表を変化と対応を調べたりして、反比例かどうか説明しよう。」を板書する。

教師は、A表が比例の表であることを確認後、B表とC表について、どのようなことがいえれば反比例だと判断できるのかを問うた。F生による反比例の表の特徴についての発言を受け、前時にまとめた「解決の視点やアイデア」を注目するよう指示し、生徒たちの課題把握を促した。

N生は、前時にまとめた「解決の視点やアイデア」を参考に、見通しを次のように記述した。

【N生が記述した見通し】



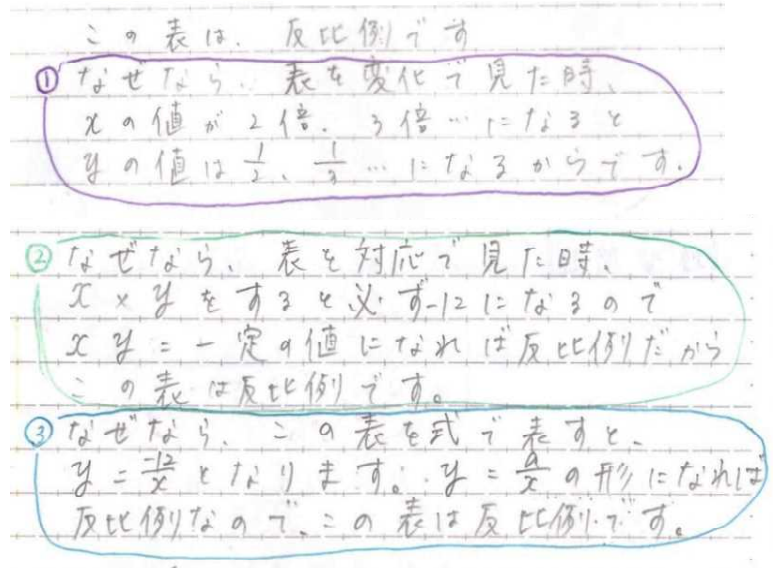
その後、N生は、B表が反比例になる理由を、

①表を変化で見ること、②表を対応で見ること、③式の形からそれぞれ判断し、個人追究の中で【図3】のように説明した。

これは、「解決の視点やアイデア」から、前時までの知識や技能を振り返り、見通しをもって追究することができた姿である。

このようなN生の姿から、「解決の視点やアイデア」をまとめ、蓄積していく活動は、解決の見通しを持ったり課題を把握したりすることに有効であり、知識や技能の定着を促すことが示唆された。

【図3】



②共同追究の場面において、話形に沿って記述・説明した判断理由を、友とかかわることで修正していったR生

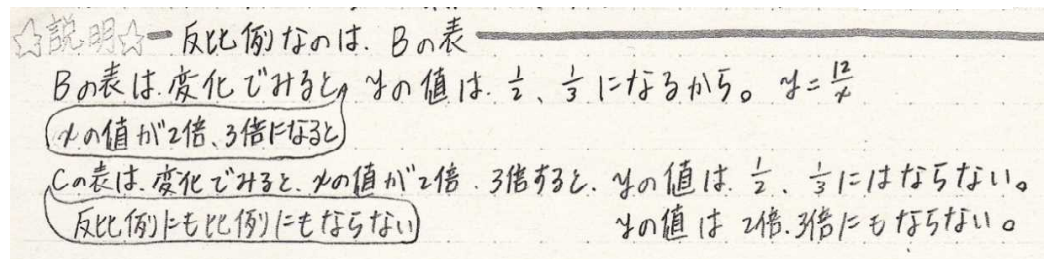
比較的数学が苦手なR生は、個人追究の中で、B表が反比例になることとC表が比例とも反比例とも判断できないこと理由を、「Bの表は変化でみると、yの値は1/2、1/3になるから。Cの表は変化でみると、xの値が2倍、3倍すると、yの値は1/2、1/3にはならない。yの値は2倍、3倍にもならない。」と話形に沿って記述した。

その後、R生は、4人組グループによる共同追究において、K生の記述を参考に、自身の記述を次頁【図4】のように修正した。xの値の変化に着目する記述や、まず結論を先に述べた記述が修正部分である。



これは、説明の基本となる話形に基づき、自分なりの判断理由を説明し、よりよい表現に修正しようとする姿である。このようなR生の姿から、判断した理由を記述したりや説明したりする活動において、話形が有効であることが明らかになった。また、話形が示されることで、説明を敬遠しがちな生徒でも、安心して記述・説明することが明らかになった。

【図4】



③「 y の値が減ると、反比例だ」という思い込みを修正し、本時の「解決の視点やアイデア」をまとめていったM生

【図5】は、小単元「比例」の授業におけるM生のノートである。

練習問題 10kgのねん土から x kg ちぎりとったときの残り y kg
 このとき y は x に比例するかどうか判断しよう。

x kg	1	2	3	4	5	4	7	8
y kg	9	8	7	6	5	6	3	2

A. y は x に比例しません!
 変化でみると、 x が2倍、3倍すると、 y は2倍、3倍... してない!
 対応でみると、 y を x でわっても一定の値にはならない。

(Handwritten note in blue circle): x がふえるときに y がへると反比例だと思ったけどなー。

【図5】

この授業は、二つの数量関係が比例であるかどうかを、比例の式と表の特徴に照らし合わせて判断することをねらいとしていた。このとき、「比例ではない」と判断するための題材として扱った問題が「粘土の問題」である。

M生は、二つの数量関係から表を作成し、変化と対応の二通りの見方から、 y は x に比例しないと判断した。

しかし、M生は、ノートに「 x がふえるときに y がへると、反比例だと思ったけどなー」と記述した。そこで、教師は、「粘土の問題」についての関係が反比例だと思ふ生徒に挙手を促した。すると、M生以外にも14名の生徒が反比例の表だと判断していた。H生にその判断理由を問うたところ、M生と同様に、「 y の値がどんどん減っているから反比例だと思う」と発言した。



ここから、「 y の値が減っているときは反比例だ」という生徒たちの強い思い込みが伺える。教師は、このような勘違いをしがちな生徒たちに対し、本時の学びを生かして反比例の関係かどうかを判断させる活動を仕組みたいと考え、再び「粘土の問題」を練習問題として扱った。

M生は、表の変化と対応を見直し、それぞれが反比例の特徴と一致しないことを次頁のように説明した。

【M生の本時のノートから】

練習問題 1/5の粘土の問題
 表を変化で見ると、 x が2倍、3倍... すると、 y は、1/2倍、1/3倍になっ
 ちゃいけないから、反比例にはありません。
 対応で見ると、 $x \times y$ をしても一定の値にはならないから、反比例
 ではない。

まとめ ☆注意☆
 “ x の値がふえていて、 y の値が減っている”ときは、反比例だ
 と思ひ込まず。
 ↳ 表の「変化」や「対応」を調べないとはいけな。

その後、M生は、級友の発言を受け、本時の「解決の視点やアイデア」として「“ x の値がふえていて、 y の値が減っている”ときは反比例だと思ひ込まない。表の「変化」や「対応」を調べないといけない。」とまとめることができた。これは、「 y の値が減っているときは反比例だ」と考えていたM生が、新たな見方や考え方を習得した姿である。このことから、「解決の視点やアイデア」をまとめる活動は、知識や技能の定着のみではなく、数学的な見方や考え方を高めることにも有効であることが示唆された。

中学校2年国語

1. 単元名

「いにしへの心を訪ねる 仁和寺にある法師『徒然草』から～兼好法師の価値観を捉えて論じよう」

2. 単元設定の理由

『徒然草』は随筆という文学形式の中で、兼好法師が独自の世界観を提示した作品である。簡潔で無駄がなく、リズム感に満ちた文章の中に無常観が漂い、人間の生き方に大きな示唆を与えてくれる。

『徒然草』に描かれている人間の姿は、現代にも通じている。兼好法師の人間観察の確かさや鋭さを感じることで、生徒は予めもっていた自らの考えに新たな考えを加えたり、あるいはそれを変容させたり、強めたりしながら、自分の考えを問い直す読みの楽しさをより実感することができるのではないかと考える。

古典に表れたものの見方や考え方に触れ、現代との共通点や相違点に気付き、古文を読む楽しさを味わいながら、自分の考えを文章の中に効果的に書くことができるようになることを考え、本単元を設定した。

3. 単元の目標

①『徒然草』のおもしろさを味わい、自分のものの見方や考え方を広くしようとしている。〔関心・意欲・態度〕

②文章に表れている作者の人間観や人生観などを理解し、知識や経験と関連付けて、兼好法師の価値観について論じる文章を書くことができる。〔書くこと ウ〕

③古典に表れたものの見方や考え方に触れ、現代との共通点や相違点に気付くことができる。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) ア (イ)〕

4. 単元の評価規準

(1) 本文を読み、おもしろい、共感する、不思議だなど・感じたことを交流しようとしている。

(2) 『徒然草』に表れた兼好法師の人間観や人生観などについて、自分の知識や経験と関連付けて文章を書いている。

(3) 人間性に対する兼好法師のものの見方や考え方について友の考えと自分の考えを比較して聞き、内容の理解を深めている。

5. 単元の展開 (全7時間)

学習活動	指導	評価規準	備考	時
1 教科書に載っている序段と第52段を通読す	・ワークの資料や資料集(資料総覧)を用いて、『徒然草』の概要を知らせる。	興味をもちながら説明を聞き、おもしろい、共	・ワーク ・資料集 (資料総覧)	1

<p>る。 古文の部分は、リズムを味わいながら繰り返し音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・難語句調べをする。 ・歴史的仮名遣いや古典だけに使われる言葉について学習する。 ・序段と第 52 段を音読し、初発の感想を書く。 	<p>感ずる、不思議だなど感じたことを書いている。(付箋への記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初発の感想記入用付箋 (5cm 四方) 	
<p>[古文を読むのは、難しそうだな。それでも読みやすい現代語訳と並行して読んでいけば理解できそうだ。]</p>				
<p>2 学習のめあてをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想. を紹介し、単元を通した学習のめあてをもつ。 	<p>文章に表れている作者の人間観や人生観などを理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初発の感想をまとめたプリント 	<p>2</p>
<p>単元を貫く学習問題</p> <p>「兼好法師が大切にしていることは、どんなことだろうか。『徒然草』を読んで兼好法師の価値観を読み取り、自分の知識や経験と関連付けて、説得力のある文章を書こう。」</p>				
<p>[兼好法師は、全部で 2 4 3 段も話を残している。読む人たちにどんなことを伝えたかったのかな。兼好法師は、どんなことを大切に考えている人だったのだろうか。]</p>				
<p>3 自分の知識や経験とも関連付けて、第171段についての自分の考えを文章にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・序段と第 52 段以外の『徒然草』の段(教師が選んだ段。全部で 14 の段)を読み、『徒然草』に親しませる。 ・第 117 段を読み、兼好法師が大切に思っていることとはどんなことなのかを考え、自分の考えをワークシートにまとめる。 ・第 117 段を読み取った内容から兼好法師の価値観について論じる文章を書く。 	<p>根拠となる叙述を書き出し、その叙述から読み取れる理由を書いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・プリント(『徒然草』本文とその現代語訳、全部で 14 の段) ・原稿用紙 	<p>3 4</p>
<p>[[『徒然草』は、案外身近に起こった出来事を題材にして書いてある話が多い。現代と通じる内容も結構ある。]</p>				

<p>4 ワークシートに書いた内容について友と意見交換し、これまでの追究を振り返り、班として論じる文章をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士で考えを紹介し、気付いたことを助言し合うように促す。 ・書いた文章を読み合うときには、題材の捉え方、根拠の示し方、文章の構成に着目するように促す。 ・友の意見を聞き、自分の考えが変わった場合は、違う色の筆記用具で書く。 ・ワークシートに自分や友だちの考えを書き、班として論じる文章をまとめるように促す 	<p>自分の考えと比べながら、友の根拠と理由を聞き、自分の考えを深めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・プリント(『徒然草』本文とその現代語訳、全部で14の段) ・前時に書いた作文 ・原稿用紙 	<p>5</p>
<p>[兼好法師は、友達を選ぶ時に、自分にとって得になるか、それとも損になるかを基準にしているのではないか。兼好法師は、自己中心的な人だったのだろうか。]</p>				
<p>5 兼好法師の人間観や人生観などを読み取り、第117段について論じる文章を推敲する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に表れた兼好法師の人間観や人生観などについて、自分の知識や経験と関連付けて、第117段について論じる文章を推敲するように促す。 	<p>友だちの意見も参考にし、根拠となる叙述やその叙述から読み取れることを理由としながら、文章を書いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・プリント(『徒然草』本文とその現代語訳、全部で14の段) ・前時に書いた作文 ・原稿用紙 	<p>6</p>
<p>6 書き上げた文章を2年7組の友達に紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を2年7組の友達に紹介し、意見を交換するように促す。 	<p>根拠となる叙述から兼好法師の価値観を述べ、自分の意見も述べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・プリント(『徒然草』本文とその現代語訳、全部で14の段) ・作文 	<p>7</p>

(4) 本時(第5時)での学び

①ねらい

第117段を読み兼好法師の価値観について個々に考えてきた生徒が、友と意見交換を

し、班で考えをまとめる場面で、各自のワークシートを基に根拠となる叙述やその叙述と自分自身の知識や経験とを関連付けて考えた内容などを伝え合うことを通して、それぞれの考えを練り合わせ、班としての論じる文章を書くことができる。

②展 開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	指導 ※評価規準	時間
導 入	1 前時の振り返りから、本時の学習問題を確認する。	・根拠となる叙述から読み取れる内容を幾つか挙げる事ができたが、他にもあるかどうか、友だちの考えを知りたい。	・学習問題を確認し、本時の流れを伝える。	10
	2 友の意見を聞き追究の意欲と見通しをもつ。	・自分と似ている考えの友だちがいる。 ・自分と同じ叙述に着目しているにもかかわらず、捉え方が全く違う友だちがいる。なぜそのような捉え方をしているのだろう。	・数人に指名し、根拠と理由を話すように促し、学習課題を設定する。 ・本時のグループ分けやタイムスケジュールを確認する。	
展 開	3 グループで読み取りの理由について意見交換をする。	・兼好法師は、自分よりも優れていたり、自分に害をもたらす人を嫌っているんじゃないかな。自分に利益をもたらす人を「良い友」と言っているんだと思う。 ・自分よりも優れている人を嫌うというのは、自分がいばりたいからなのかな。 ・「良い友」に挙げているのは、みんな自分にとって都合のいい人ばかりだよな。 ・ということは、兼好法師は損得で動く入っていることな	・友達ワークシートを見ながら、根拠となる叙述や、そこから読み取れることを自由に意見交換する場を設ける。 ・意見交換の様子を全体的につかみながら、支援が必要だろうと予想されるいくつかのグループについては、できるだけ長い時間かわり、一緒に考えるようにする。 ・根拠から理由の筋道が分かり易く書かれている所に、前	15

学習問題：兼好法師が大切にしていることは、どんなことだろうか。『徒然草』を読んで兼法師の価値観を読み取り、自分の知識や経験と関連付けて、説得力のある文章を書こう。

学習課題：兼好法師の考え方のどこに同感できるかできないのかの理由をはっきりさせて、班で第117段について論じる文章を書こう。

		<p>のかなあ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兼好法師は、自己中ってことかな。物をくれる人がいいってというのは、欲深っていうことかな。確かに何か物もらえれば自分だって嬉しいもんね。 ・物をくれるというのは、ただ単に物をくれるという訳ではなくて、自分が困った時に助けてくれるという意味なんじゃないかな。 ・困っている人の身になってくれる人、ということか。 ・兼好法師は、体面ばかりを重視して飾り立てることをよくないと考えていると思うよ。人の心の内面や物事の本質を見ることを大切にしている人だと思うな。 ・こんなに昔でも、友達関係のことで悩んでいたんだね。 ・兼好法師みたいに偉い人でもこんな風に思うなんて親しみを感じるねさ ・兼好法師っていうと、何だか偉そうな名前だなあって感じるけど、堀池の僧正みたいに普通の世間話があったり、木登りの名人だとか自分が感心したことなんかも書いているから、何だか普通のおじさんみたいに感じるなあ。 ・友だちの考えを聞いていたら、自分では気づかなかった考えがいろいろあって面白い。 	<p>時のうちに朱書きで○をしておき、そこを語れているか確認したり、語れていなければ励ましたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を聞いて、なるほどと思う意見については、筆記用具の色を変えてメモするように促す。 <p>※自分の考えの道筋と比べながら、友の根拠と理由を聞き、自分の考えを深めている。</p>	
4	グループでの意	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの考えを聞いたら、兼好法師の考え方は深くて、 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで語り合った後、班としての考えをまとめ直す 	20

	見交換を受けて、班としての論じる文章を書く。	<p>同感できる内容がたくさんあるっていうことに気づいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを大切に考えて行動するということは、現代でも大切にしていることだ。 <p>Aさんが話してくれた体験は自分にも似たようなことがある。自分の体験とAさんから聞いた内容も入れて書こう。</p>	<p>時間を設ける。</p> <p>※友だちの意見を取り入れながら、根拠となる叙述やその叙述から読み取れることを理由としながら、自分の考えをまとめている。</p>	
終末	5各班の文章を聞き合い、意見交換をして改めて考えたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を聞いて、自分では気付かなかった読み取りをすることができ、考えの幅が広がった。 ・古文を読むのは難しいって思っていたけれど、意外と面白いな。現代と通じることがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返って、新たに気付いたことや、考えが深まったことなどについて振り返る時間を確保し、数名に語ってもらい、振り返りを書く。 	5

教員の資質ならびに
授業力向上のためのシステム

設計書

サイト概要 サイトの目的

サイトの目的

本サイトは、教員自身による自己特性に応じたキャリアデザイン設計の補助、および資質向上を図るための教育実践情報の共有を目的とし、これに必要な機能を実装するものとする。

機能としては、大きく4つの機能から成り立ち、これらを有機的に組み合わせる事で、効率的に教員の資質ならびに授業力の向上を促す。

1. ポートフォリオシステム

教員の研修歴、資格、校務分掌、学外活動等をデータベース化する事で、自己の成長過程を評価、管理する。

2. 教師力診断システム

自分自身の授業力を診断し、不足している能力を客観的に認識する。

3. 行動目標設定システム

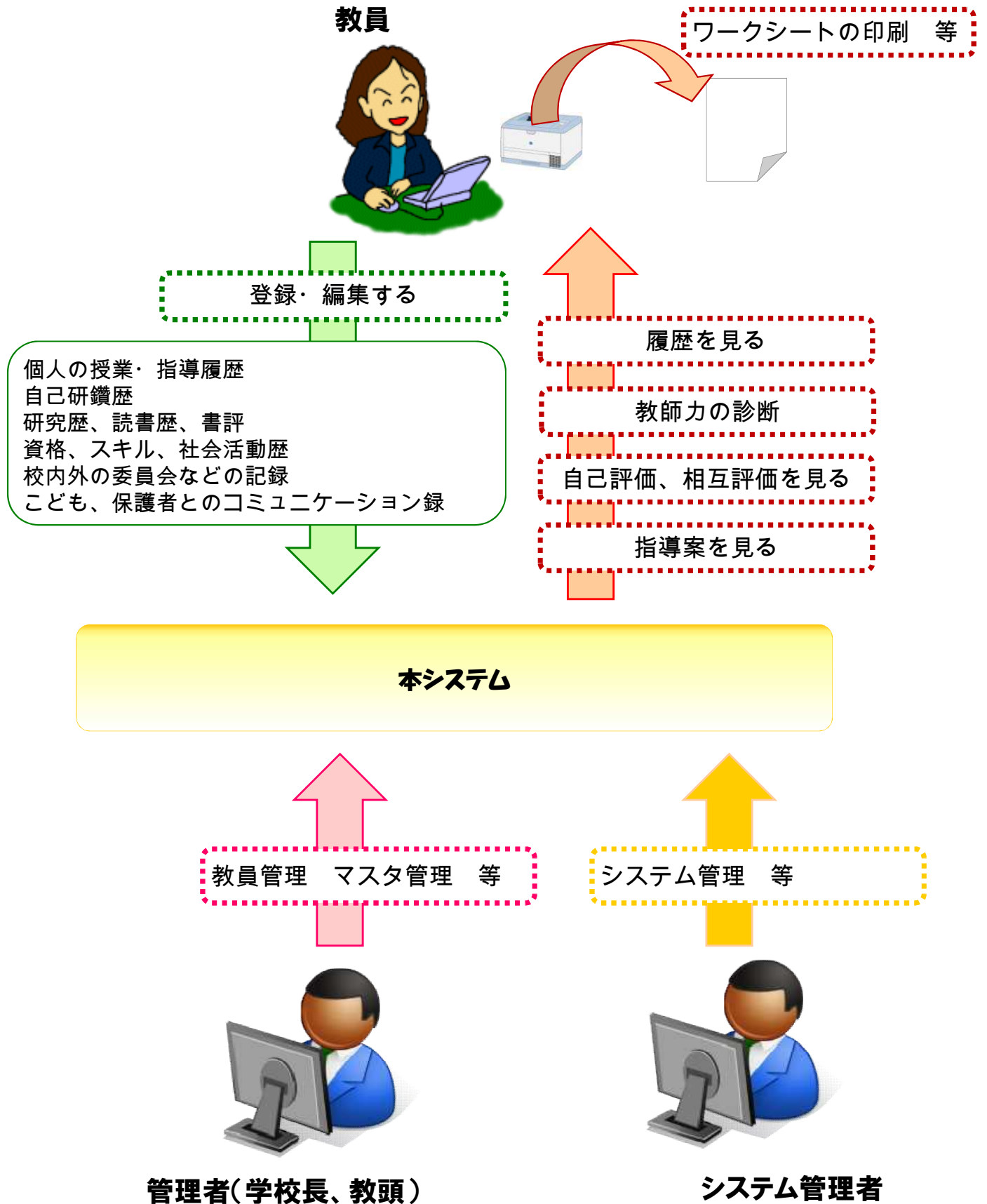
ポートフォリオ、教師力診断を活用して、自分自身の行動目標を設定する。

4. 教育実践データベース

自分、または他者の指導案や実践記録をデータベースに一元化する事で、有効活用を図る。

サイト概要 システムフロー

システムフロー



サイト概要 サイトの基本機能

基本機能 (共通)

- ポートフォリオ
 - ・教育実践歴
 - ・研修歴
 - 公的研修
 - 自主研修
 - 免許更新
 - その他
 - ・資格、社会活動歴
 - ・校務分掌と学外での役職
 - ・生徒指導歴 (含む保護者対応)
- 教師力診断
- 行動目標設定
- 教育実践データベースの閲覧 (指導案や実践記録、紀要)

管理者向け機能

- 教員管理 (登録・変更・削除)
- マスタ管理 (登録・変更・削除)
- 「教育実践暦」へのコメント書き込み

システム管理者向け機能

- モジュール管理
- サイト一般設定管理
- デザイン管理

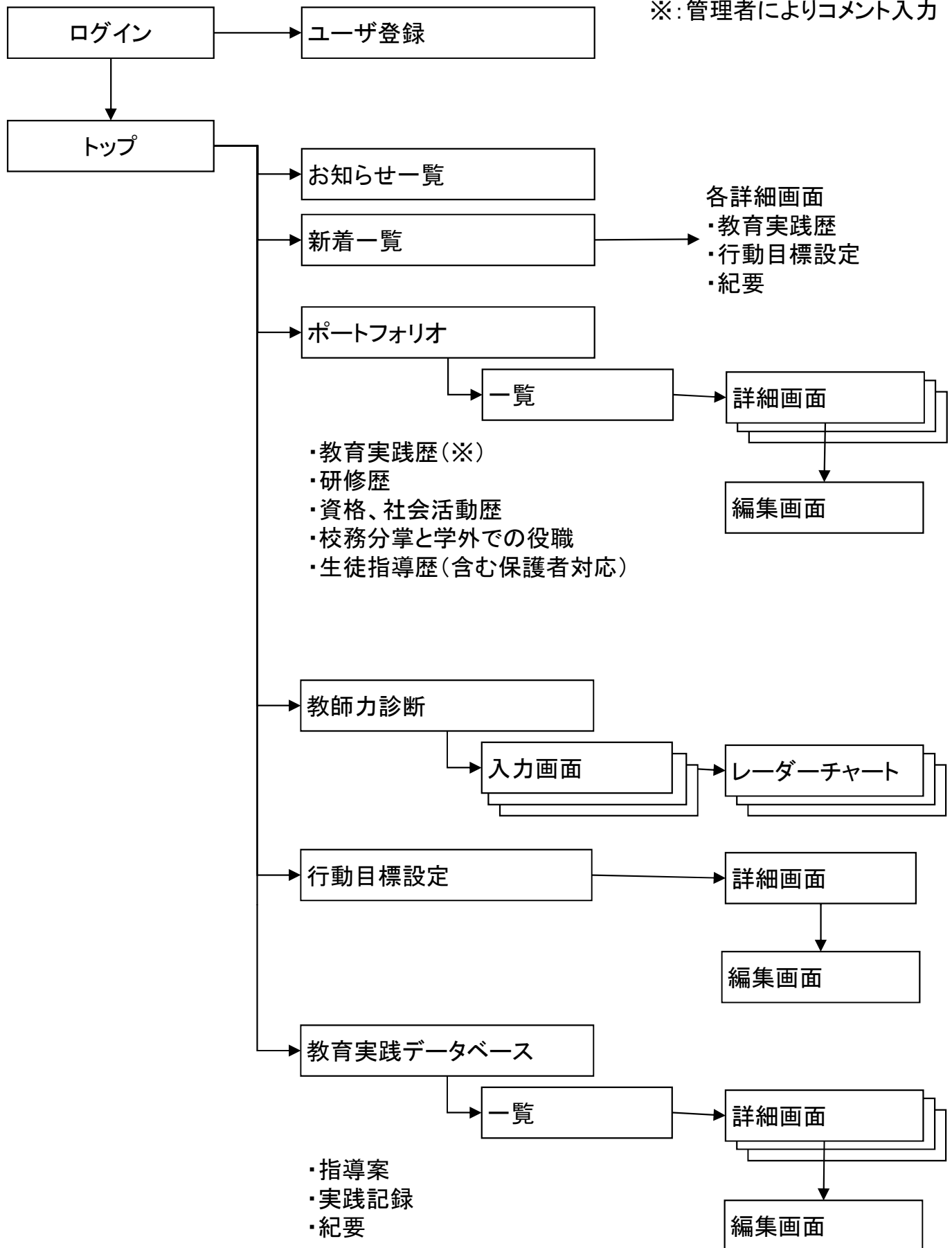
サイト概要 操作権限一覧

◎：閲覧・管理可 ○：閲覧可、管理可（自記事のみ） △：一部閲覧不可 ×：閲覧不可

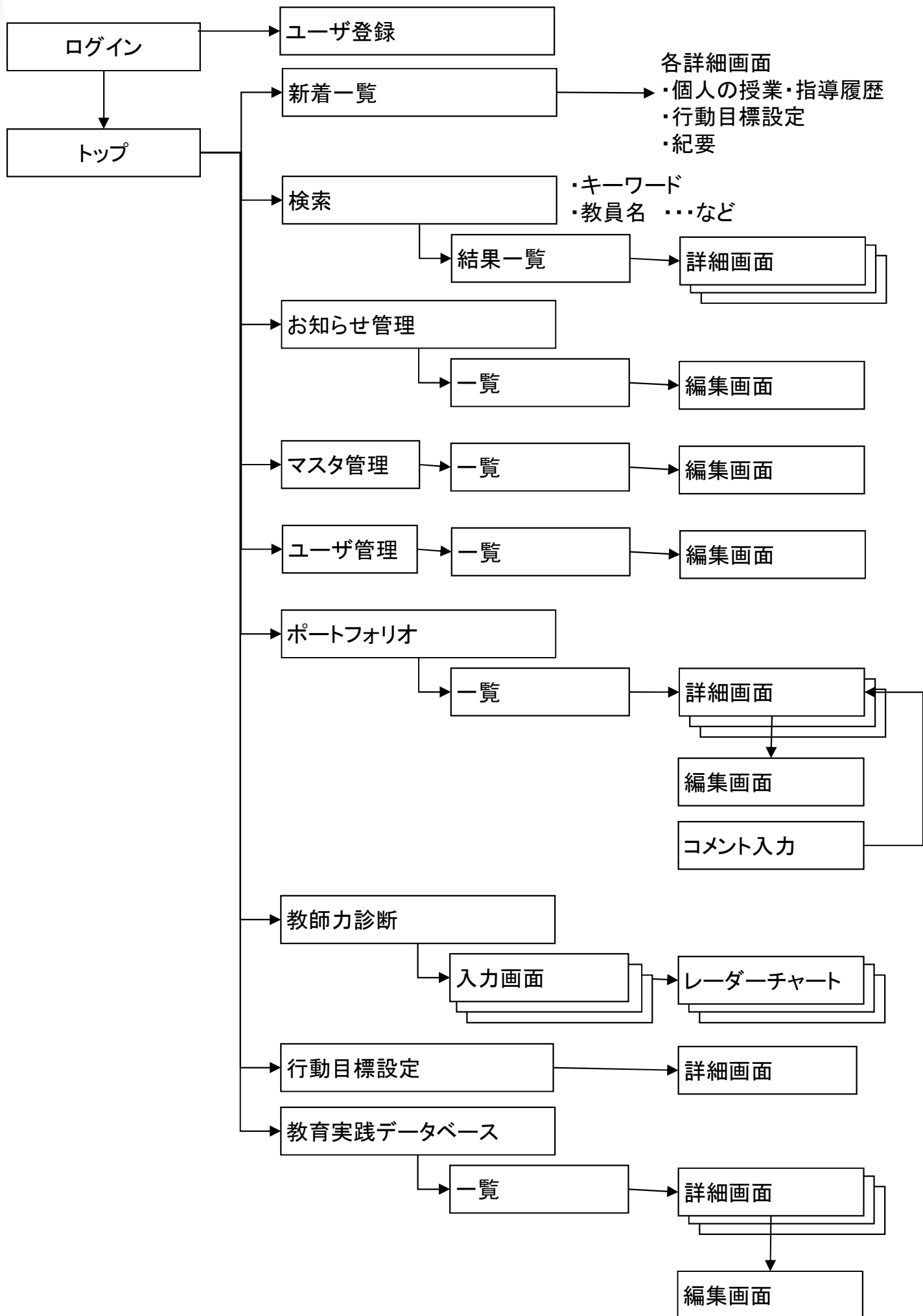
機能		権限		
		教員	管理者	システム管理者
ポータルフォリオ	教育実践歴	○	◎	◎
	研修歴	○	△	◎
	資格、社会活動歴	○	◎	◎
	校務分掌と学外での役職	○	◎	◎
	生徒指導歴（含む保護者対応）	○	◎	◎
教師力診断		○	◎	◎
行動目標設定		○	◎	◎
教育実践データベース		○	◎	◎
管理	教員管理	×	◎	◎
	マスタ管理	×	◎	◎
	マスタ管理	×	◎	◎
システム	モジュール管理	×	×	◎
	サイト一般設定管理	×	×	◎
	デザイン管理	×	×	◎

サイト概要 サイトマップ (教員用)

※:管理者によりコメント入力



サイト概要 サイトマップ (管理者用)



システム要件

対象ブラウザ

■Windows

Internet Explorer 7 8 9

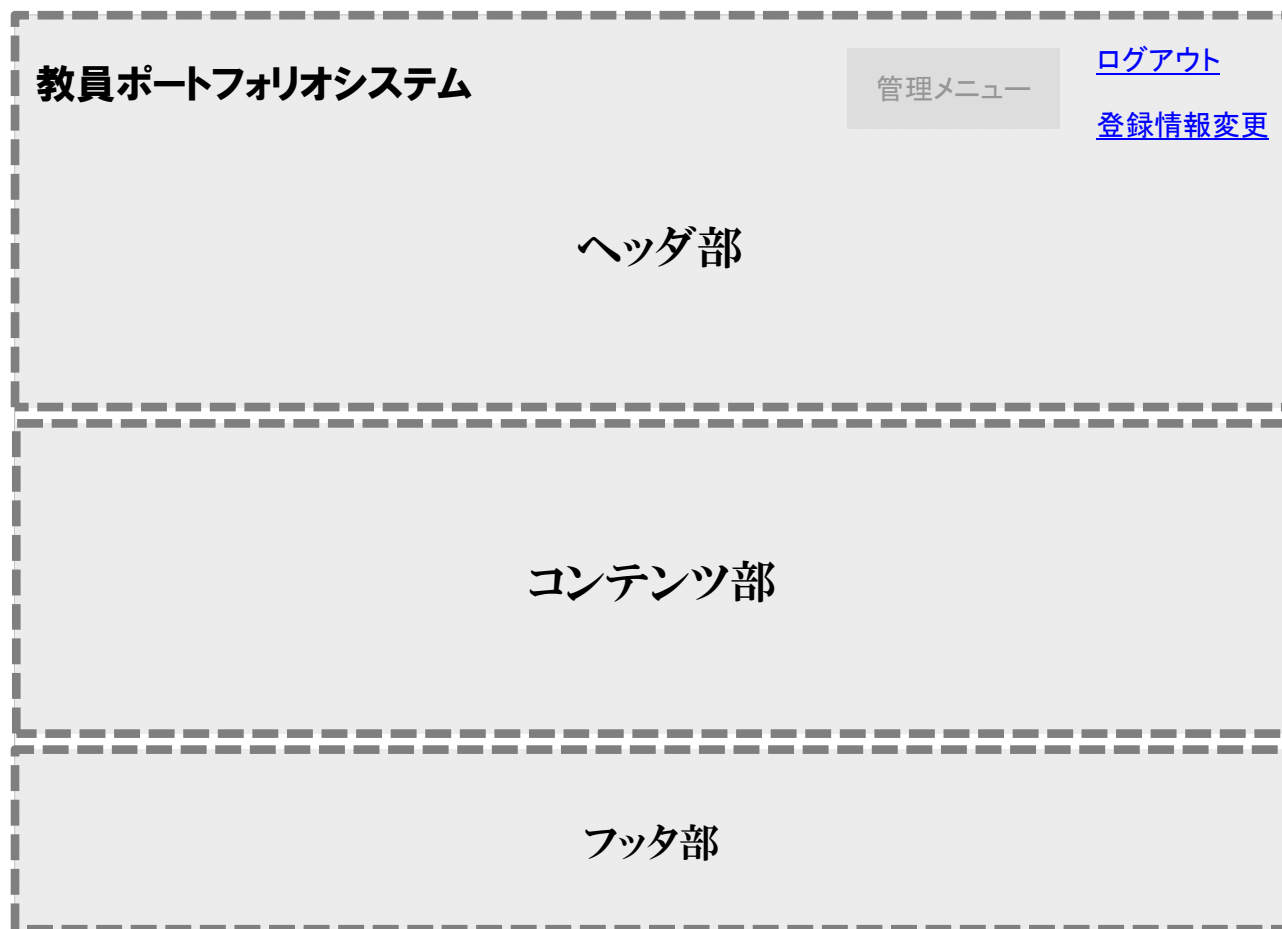
Mozilla Firefox (最新版)

■Macintosh

Safari 5.9 以降

サーバ要件

Webサーバ	Apache 2以降
プログラム言語	PHP 5.1.6 以降
データベース	MySQL 5以降



■概要

全ページ共通で使用するヘッダ／フッタ部

■ヘッダ部

- ・「HOME」を押すとトップページ画面へ
- ・「管理メニュー」を押すと管理メニュー表示画面へ
 - 管理ユーザでログインの場合: タブがアクティブに
 - それ以外の場合: タブは非アクティブに(文字がグレーアウト)
- ・ログアウトボタンをクリックするとログイン画面へ
- ・「ユーザ登録」「登録情報変更」
 - 非ログイン状態ではユーザ登録画面へ
 - ログイン時はユーザ情報変更画面へ

■コンテンツ部

- ・各コンテンツの内容を表示

■フッタ部

- ・コピーライトを表示

以下の画面設計では、コンテンツ部のみ記述する。

ログイン後の初期画面

The screenshot shows a user interface with a sidebar menu on the left and a main content area on the right. The sidebar menu includes items like 'ポートフォリオ', '教育実践歴', '研修歴', '資格、社会活動歴', '校務分掌と学外での役職', '生徒指導歴 (含む保護者対応)', '教師力診断', '行動目標設定', '教育実践データベース', and 'パスワード変更'. The main content area has a 'ログアウト' button at the top right, followed by a 'お知らせ' (Notice) section with a 'NEW' notice dated 2013.03.05 about a license update period. Below that is a '新着一覧' (New Arrivals) section with a table of items. Callouts explain that the 'お知らせ' section can be expanded to show notices for the user, and that the '新着一覧' section shows items based on a checkbox setting in the user's profile. A separate callout points to the sidebar menu, identifying it as the 'メニュー部' (Menu section) containing links to various functions.

ログアウト

お知らせ

NEW 2013.03.05 免許更新の時期です。

自分へのお知らせを表示

新着一覧

NEW	2013.03.05	概要
	2013.02.21	●● ●夫

自分の登録した情報で、「新着一覧に表示する」にチェックを入れたものを一覧で表示

メニュー部 (各機能へのリンク)

■概要

ログイン後の初期表示ページ。お知らせや、自登録記事の新着情報を表示する。

■メニュー

本システム各機能へのリンク

■お知らせ

・免許更新時期や、システムからのお知らせを表示する。

■新着一覧

- ・各機能にて記事登録時に、「新着一覧に表示する」にチェックを入れた記事を一覧で表示する。
- ・表示件数は20件とする。

■パスワード変更

・クリックにより、パスワード変更画面を表示し、パスワードを変更可能とする。

メニュー部は各機能画面で共通とし、以降の画面設計では「メニュー」と表記する。

ポートフォリオ ①「教育実践歴」画面

HOME ログアウト

新規追加 印刷

1年目	2年目	3年目	5年目	10年目	15年目	20年目	25年目
-----	-----	-----	-----	------	------	------	------

個人目標 編集

内容

コメント表示 コメント

教育実践歴 追加

2013.03.05
2013.03.05
2013.03.05

反省・総括 編集

内容

コメント表示 コメント

■概要

単位年ごとに、個人目標を設定し、その間の教育実践歴を記録していく機能。単位年終了時に反省・総括を入力する。

■単位年

1年目、2年目、3年目、5年目、10年目、15年目、20年目、25年目をそれぞれ単位年とする。

■個人目標

- ・テキスト形式で入力する。
- ・コメント表示ボタン コメント表示ボタンで個人目標に対する管理者からのコメントを表示する。
- ・コメントボタン 管理者でログイン時に表示する。個人目標に対し、テキストでコメントを入力できる、

■教育実践歴

- ・年月日と内容を入力し、時系列で教育実践歴を記録する。

■反省・総括

- ・テキスト形式で入力する。
- ・コメント表示ボタン コメント表示ボタンで反省・総括に対する管理者からのコメントを表示する。
- ・コメントボタン 管理者でログイン時に表示する。反省・総括に対し、テキストでコメントを入力できる、

ポートフォリオ ①「教育実践歴」個人目標編集画面

HOME ログアウト

印刷

1 年目	2 年目	3 年目	5 年目	10 年目	15 年目	20 年目	25 年目
---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------

個人目標

新着一覧に表示する

登録 キャンセル

■概要

個人目標の編集をおこなう。

■単位年

1年目、2年目、3年目、5年目、10年目、15年目、20年目、25年目のいずれかを表示する。

■個人目標

・テキスト形式で入力する。

■新着一覧に表示する

・「新着一覧に表示する」にチェックが入っている場合は、トップページの新着情報に表示される。

■登録

・入力されたデータをデータベースに登録する。

■キャンセル

・修正／追加内容を破棄して、前の画面に戻る。

ポートフォリオ ①「教育実践歴」教育実践歴編集画面

HOMEログアウト

メニュー

教育実践歴

タイトル

登録日

内容

添付ファイル

新着一覧に表示する

■概要

教育実践歴の新規登録、または既存記事の編集をおこなう。

■タイトル

テキストで入力

■登録日

・登録日を設定する(任意の日を設定可能とする)

■内容

テキストで入力

■添付ファイル

「選択」ボタンをクリックする事で、ローカルPCのファイルを選択してアップロードする。

■新着一覧に表示する

・「新着一覧に表示する」にチェックが入っている場合は、トップページの新着情報に表示される。

■登録

・入力されたデータをデータベースに登録する。

ポートフォリオ ①「教育実践歴」反省・総括編集画面

HOME ログアウト

印刷

1 年目	2 年目	3 年目	5 年目	10 年目	15 年目	20 年目	25 年目
---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------

反省・総括

新着一覧に表示する

登録 キャンセル

■概要

反省・総括の編集をおこなう。

■単位年

1年目、2年目、3年目、5年目、10年目、15年目、20年目、25年目のいずれかを表示する。

■反省・総括

・テキスト形式で入力する。

■新着一覧に表示する

・「新着一覧に表示する」にチェックが入っている場合は、トップページの新着情報に表示される。

■登録

・入力されたデータをデータベースに登録する。

■キャンセル

・修正／追加内容を破棄して、前の画面に戻る。

ポートフォリオ ②「研修歴」トップ画面



■概要

カテゴリごとに個人の研修歴を登録、閲覧する機能

■カテゴリ

以下の4つのカテゴリを設置する。

- －公的研修
- －自主研修
- －免許更新
- －その他

※その他については、「公開／非公開」機能を設け、「非公開」設定の場合、管理者でも閲覧出来ないようにする。

■一覧画面

- ・カテゴリごとの新着記事を一覧表示する。
- ・上部のカテゴリボタンにより、表示カテゴリを切り替え。
- ・選択されたカテゴリボタンの色を変更し、どのカテゴリを表示しているかを明示する。
- ・一覧のリンクをクリックすると詳細ページを表示する。

■新規登録

記事を新規に登録する。

■編集

登録済みの記事を編集する。

HOMEログアウト

編集印刷

公的研修会	自主研修会	自主研究 サークル	免許更新
-------	-------	--------------	------

登録日

内容

.....
.....

添付ファイル

.....
.....

■ 概要

研修歴の詳細内容を表示

■ 登録日

記事が登録された日を表示

■ 内容

記事内容を表示(テキスト形式)

■ 添付ファイル

記事に関連した添付ファイルへのリンク
※最大5個までとする。

■ 編集ボタン

記事の編集ページを表示する

■ 印刷ボタン

表示された内容をプリンターで印刷する

HOMEログアウト

メニュー

カテゴリ

登録日

内容

添付ファイル

<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>	<input type="button" value="選択"/>
<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>	<input type="button" value="選択"/>
<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>	<input type="button" value="選択"/>

非表示

■概要

自己研鑽歴を新規登録、または既存記事の編集をおこなう。

■カテゴリ

以下の4つのカテゴリを選択

— 公的研修 自主研修 免許更新 その他

■登録日

・登録日を設定する(任意の日に設定可能とする)

■内容

テキストで入力

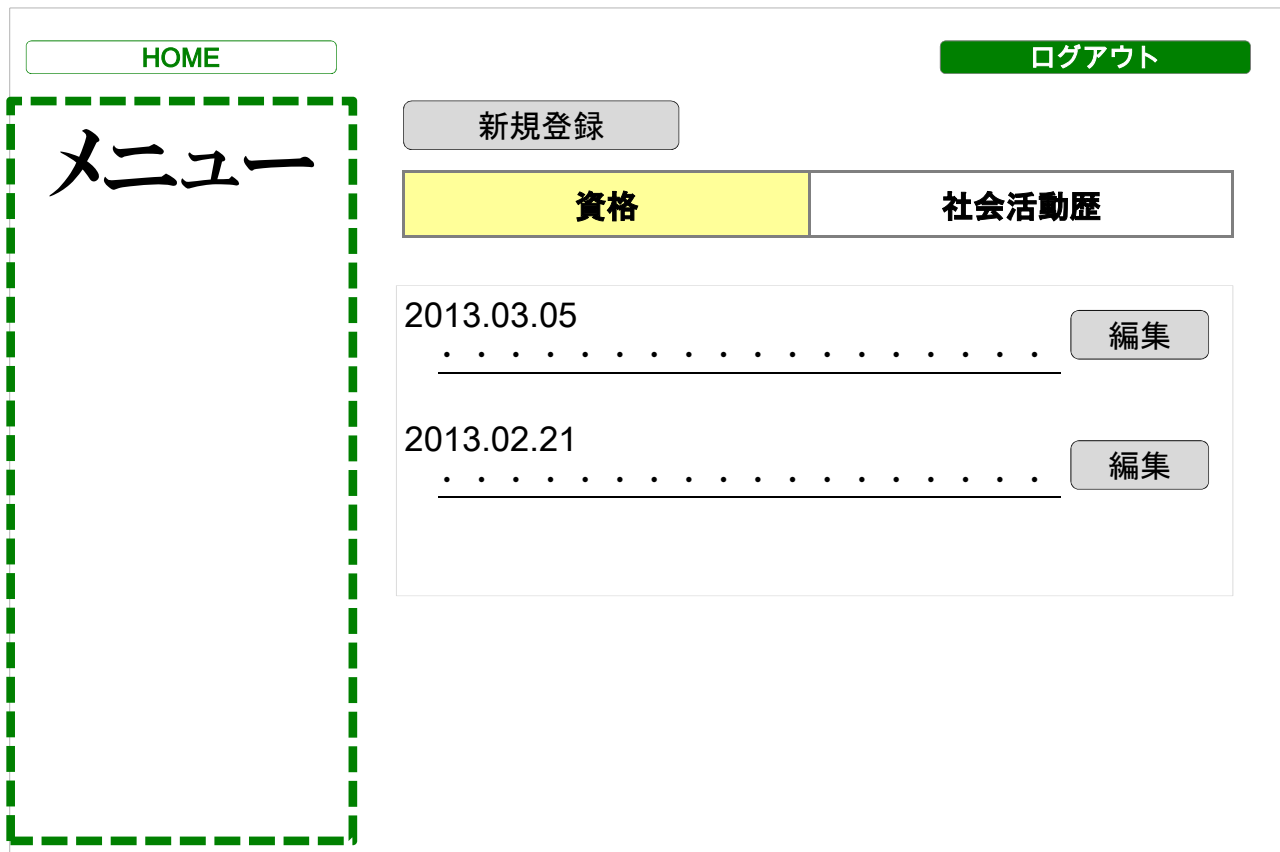
■添付ファイル

「選択」ボタンをクリックする事で、ローカルPCのファイルを選択してアップロードする。

■非表示

- ・カテゴリとして「その他」が選択された場合のみ表示する。
- ・チェックを入れた場合は、当該記事を管理者に表示しない。

ポートフォリオ ③「資格、社会活動歴」トップ画面



■概要

カテゴリごとに個人の資格、社会活動歴を登録、閲覧する機能

■カテゴリ

以下の2つのカテゴリを設置する。

- －資格
- －社会活動歴

■一覧画面

- ・カテゴリごとの新着記事を一覧表示する。
- ・上部のカテゴリボタンにより、表示カテゴリを切り替え。
- ・選択されたカテゴリボタンの色を変更し、どのカテゴリを表示しているかを明示する。
- ・一覧のリンクをクリックすると詳細ページを表示する。

■新規登録

記事を新規に登録する。

■編集

登録済みの記事を編集する。

HOMEログアウト

編集印刷

資格社会活動歴

メニュー

登録日

内容

.....
.....

添付ファイル

.....

.....

- 概要
詳細内容を表示
- 登録日
記事が登録された日を表示
- 内容
記事内容を表示(テキスト形式)
- 添付ファイル
記事に関連した添付ファイルへのリンク
※最大5個までとする。
- 編集ボタン
記事の編集ページを表示する
- 印刷ボタン
表示された内容をプリンターで印刷する

HOME
ログアウト

メニュー

カテゴリ

登録日

内容

添付ファイル

■概要

新規登録、または既存記事の編集をおこなう。

■カテゴリ

以下の2つのカテゴリを選択
 - 資格 社会活動歴

■登録日

・登録日を設定する(任意の日に設定可能とする)

■内容

テキストで入力

■添付ファイル

「選択」ボタンをクリックする事で、ローカルPCのファイルを選択してアップロードする。

ポートフォリオ ④「校務分掌と学外での役職」トップページ



■概要

カテゴリごとに個人の活動歴を登録、閲覧する機能

■カテゴリ

以下の2つのカテゴリを設置する。

- －校務分掌
- －学外での役職

■一覧画面

- ・カテゴリごとの新着記事を一覧表示する。
- ・上部のカテゴリボタンにより、表示カテゴリを切り替え。
- ・選択されたカテゴリボタンの色を変更し、どのカテゴリを表示しているかを明示する。
- ・一覧のリンクをクリックすると詳細ページを表示する。

■新規登録

記事を新規に登録する。

■編集

登録済みの記事を編集する。

HOME ログアウト

メニュー

編集 印刷

校務分掌 学外での役職

登録日 20XX年 XX月XX日

内容

.....

.....

添付ファイル

.....

.....

■ 概要

詳細内容を表示

■ 登録日

記事が登録された日を表示

■ 内容

記事内容を表示(テキスト形式)

■ 添付ファイル

記事に関連した添付ファイルへのリンク
※最大5個までとする。

■ 編集ボタン

記事の編集ページを表示する

■ 印刷ボタン

表示された内容をプリンターで印刷する

HOMEログアウト

メニュー

カテゴリ

登録日

内容

添付ファイル

<input style="width: 100%;" type="text"/>	選択
<input style="width: 100%;" type="text"/>	選択
<input style="width: 100%;" type="text"/>	選択

登録キャンセル

■概要

新規登録、または既存記事の編集をおこなう。

■カテゴリ

以下の2つのカテゴリを選択
－校務分掌 学外での役職

■登録日

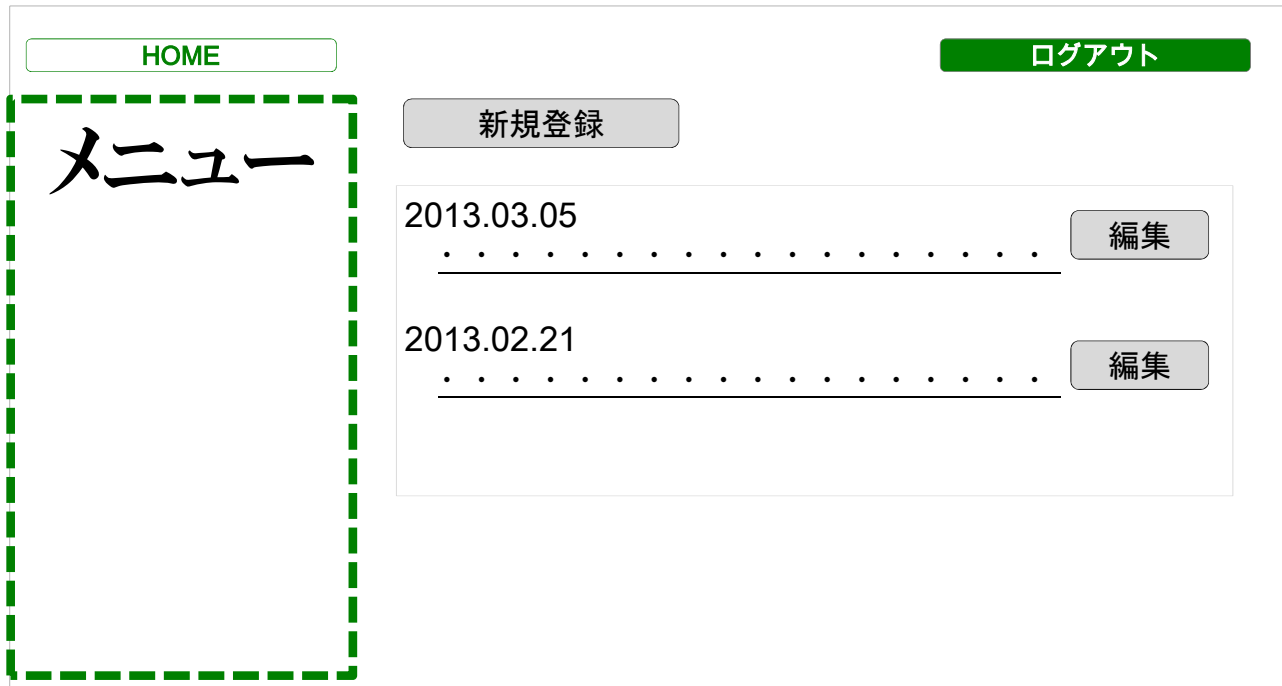
・登録日を設定する(任意の日に設定可能とする)

■内容

テキストで入力

■添付ファイル

「選択」ボタンをクリックする事で、ローカルPCのファイルを選択してアップロードする。



■概要

生徒指導歴(含む保護者対応)を時系列で登録、閲覧する機能

■一覧画面

- ・新着記事を一覧表示する。
- ・一覧のリンクをクリックすると詳細ページを表示する。

■新規登録

記事を新規に登録する。

■編集

登録済みの記事を編集する。

HOMEログアウト

編集印刷

メニュー

登録日

内容

.....
.....

添付ファイル

.....
.....

■ 概要

詳細内容を表示

■ 登録日

記事が登録された日を表示

■ 内容

記事内容を表示(テキスト形式)

■ 添付ファイル

記事に関連した添付ファイルへのリンク
※最大5個までとする。

■ 編集ボタン

記事の編集ページを表示する

■ 印刷ボタン

表示された内容をプリンターで印刷する

HOMEログアウト

メニュー

登録日

内容

添付ファイル

	選択
	選択
	選択

登録キャンセル

■概要

新規登録、または既存記事の編集をおこなう。

■登録日

・登録日を設定する(任意の日に設定可能とする)

■内容

テキストで入力

■添付ファイル

「選択」ボタンをクリックする事で、ローカルPCのファイルを選択してアップロードする。

教員履歴入力

機能概要

- ・ 教員履歴を入力する機能
- ・ 入力項目は研修歴などの入力を踏襲して、期間、履歴、内容、添付を入力できるようにする。
- ・ 一覧では履歴順で表示（新しい順）

一覧画面イメージ



教員履歴

印刷

教員履歴一覧

新規追加

2012.04.01 ~ 2014.03.31 ○○学校

編集

2010.04.01 ~ 2012.03.31 ○○小学校

編集

(1) 1-2 / 2件

[最終更新日 : 2014.03.18]

教員履歴入力

詳細画面イメージ

教員履歴

教員履歴 - ○○学校

2012.04.01 ~ 2014.03.31
担当科目：理科
担当学年：3, 4年

添付ファイル

+ 教員履歴.csv

[最終更新日：2014.03.18] 編集 削除

編集画面イメージ

教員履歴

教員履歴編集

期間 ~

履歴

内容

添付ファイル ファイルが選択されていません。
 ファイルが選択されていません。
 ファイルが選択されていません。

登録 キャンセル

週案作成

機能概要

- ・ ポートフォリオシステムを定期的使用してもらうため、週案の作成をできるようにする。
- ・ 週案入力から、各授業の集計を出力することができるようにする。
- ・ データ出力はPDFファイルで整形して出力する

作成画面イメージ

週案作成

メニュー PDF 集計 教科 今日

2014年 10週目
(3/2~3/8)

今週の重点
明るく元気に!!

	日	月	火	水	木	金	土
	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8
1		家庭科	算数	社会	美術	英語	
2		道徳	体育	数学	美術	道徳	
3		社会	体育	国語	行事	英語	
4		理科	算数	理科	行事	理科	
5		美術	技術	家庭科	行事	社会	
6		音楽	音楽	技術	行事	委員会	
備考							

記録
算数が遅れ気味

週案入力機能

- ・ 今週の重点、記録を入力
- ・ 教科ボタンから入力する教科の設定、設定後はリストから選択して入力
- ・ 集計から期間を指定して授業単位で集計
- ・ 週毎、集計からPDF出力

HOME

ログアウト

メニュー

教師力診断実施

年数 ▼

教師力診断

過去の結果

[20xx年xx月xx日実施\(XX年目\)](#)

[20xx年xx月xx日実施\(XX年目\)](#)

[20xx年xx月xx日実施\(XX年目\)](#)

■概要

教員年数に応じた設問を用意し、これに回答する事で実施者の教師力をレーダーチャートで表示する機能

■教師力診断実施

- ・年数
1年目、2年目、3年目、5年目、10年目、15年目、20年目、25年目を選択
- ・教師力診断
教師力診断ボタンを押下すると、チェック形式の設問回等画面を表示する。

■過去の結果

- ・過去の教師力診断結果を新着順に表示する。
- ・リンクをクリックすると、結果画面を表示する。

HOME

ログアウト

メニュー

年数 XX年目

[小学校](#)
[国語](#)
[社会](#)
[数学](#)
[理科](#)
[英語](#)
[音楽](#)
[美術](#)
[保健体育](#)
[技術](#)
[家庭](#)

同僚性	22	<input type="checkbox"/> 同僚と授業の進捗について話をしている。	<input type="checkbox"/> 授業づくりに関するちょっとした悩みについて助言してくれる同僚がいる。	<input type="checkbox"/> 授業における失敗について親身になって相談のってくれる同僚がいる。
	23	<input type="checkbox"/> 授業の問題点を指摘してくれる同僚がいる。	<input type="checkbox"/> 授業の良かった点について率直に指摘・助言してくれる同僚がいる。	<input type="checkbox"/> 学年・教科を超えて、授業の良かった点や問題点について率直に指摘・助言してくれる同僚がいる。
	24	<input type="checkbox"/> 授業づくりを工夫する「見習いたい」教師がいる。	<input type="checkbox"/> 自身の授業を省察して、その改善に取り組んでいる「見習いたい」教師がいる。	<input type="checkbox"/> たとえ失敗しても継続して授業改善に取り組んでいる「見習いたい」教師がいる。
チャレンジ力	25	<input type="checkbox"/> 自己の授業づくりの課題を明らかにしている。	<input type="checkbox"/> 授業改善のための具体的な計画を立てている。	<input type="checkbox"/> 授業改善のための計画を、その実行結果に基づいて策定し直している。
	26	<input type="checkbox"/> 新しい指導法や教材・教具に興味がある。	<input type="checkbox"/> 授業改善に向けて新しい指導法や教材・教具を取り入れている。	<input type="checkbox"/> 新しい指導法や教材・教具の特長と課題を整理して、その利用の日常化を図っている。
	27	<input type="checkbox"/> 自身の授業づくりについて考える機会がある。	<input type="checkbox"/> 自身の授業づくりの特長と課題を整理している。	<input type="checkbox"/> 自身の授業づくりの問題点について、その原因を納得がいくまで考えている。
課題克服力	28	<input type="checkbox"/> 授業の構成や指導方法の改善を図っている。	<input type="checkbox"/> 子どもの実感を踏まえた授業の構成や指導方法を具体的に思いつく。	<input type="checkbox"/> 授業の構成や指導方法の可能性と課題を、授業実践を重ねて継続的に検討している。
	29	<input type="checkbox"/> 授業づくりのアイデアを教えてもらっている。	<input type="checkbox"/> 授業づくりに関する新しいアイデアを色々と思い浮かべることができる。	<input type="checkbox"/> 授業づくりに関する新しいアイデアを実際の授業において試している。
	30	<input type="checkbox"/> 理想とする「良い授業」がある。	<input type="checkbox"/> 手本となるような「良い授業」が身近に存在している。	<input type="checkbox"/> 「良い授業」の具体例を複数有している。
機転と柔軟性	31	<input type="checkbox"/> 計画通りに授業が進行できない場合でも、なんとか授業を遂行している。	<input type="checkbox"/> 計画通りに授業が進行できない場合でも、冷静に、そのリカバリーに努めている。	<input type="checkbox"/> 計画通りに授業が進行できない場合でも、それがよい授業づくりの契機となると考え、むしろ、その状況を楽しんでいく。
	32	<input type="checkbox"/> 授業中、面白い話や笑いを取り入れようとしている。	<input type="checkbox"/> 子どもが互いの学びを認め合う・雰囲気を作っている。	<input type="checkbox"/> 様々な方法で子どもたちの学習意欲を喚起している。
	33	<input type="checkbox"/> 自らの授業の問題点を反省している。	<input type="checkbox"/> 自らの授業の良い点を把握している。	<input type="checkbox"/> 自らの授業の問題点や良い点の把握を継続的・発展的に考察している。

集計結果を見る

■概要

教科を選択し、各設問に回答する事で、教師力診断をおこなう。

■年数

診断対象の年数を表示。

■教科

—以下の教科を対象とする。

—[小学校](#) [国語](#) [社会](#) [数学](#) [理科](#) [英語](#) [音楽](#) [美術](#) [保健体育](#) [技術](#) [家庭](#)—

—※小学校は一括とする。—

■設問

該当する設問にチェックを入れて回答する

■集計結果を見る

「集計結果を見る」ボタンを押下する事で、結果を集計し、レーダーチャートで表示する。

HOMEログアウト

メニュー

年数 XX年目教科 XXXXX

Dimension	Score
Top	80
Right	60
Bottom-Right	70
Bottom-Left	85
Left	75

感想入力

保存戻る

■概要

各設問を集計し、レーダーチャートで表示する。

■年数

診断対象の年数を表示。

■教科

選択された教科を表示。

■感想入力

診断結果に対する感想をテキストで入力する(任意入力とする)

■保存

診断結果をデータベースに保存する。

※保存する事で、教師力診断システムのトップページの一覧に表示される。

■戻る

結果を保存せずに教師力診断システムトップページに戻る。

※「保存」しない場合、データは破棄される。

行動目標設定

HOME ログアウト

メニュー

新規登録

XXX年度 行動目標 年度 ▼ 表示

内容

編集

■概要

年度ごとの個人の行動目標を登録、表示する機能

■新規登録

当該年度の行動目標が未設定の場合のみ表示する。

※年度始め等

■初期表示

- ・最新で登録された行動目標を表示する。
- ・タイトル部分に「年度」を表記する。

■年度切替表示

年度を選択して「表示」を押下すると、選択された年度の行動目標を表示する。

※ドロップダウンリストには、登録済みの年度を表示する。

■印刷

画面イメージをプリンダーに出力する。

行動目標設定 編集画面

HOME ログアウト

メニュー

20XX年度

内容

登録 キャンセル

ポートフォリオを表示 教師力診断を表示

(別ウィンドウで表示)

ポートフォリオ 教師力診断

■概要

年度ごとの個人の行動目標を登録機能する。

■年度

編集対象の記事の年度を表示する。
※編集不可とする

■内容

- ・テキストで行動目標を入力する。
- ・登録後の追記を可能とする。
- ・経過・総括の入力欄も設けておく。

■登録

登録ボタン押下で、入力されたデータをデータベースに登録する。
※キャンセル押下で編集内容を破棄してトップページに戻る。

■参考データ表示

「ポートフォリオ」、「教師力診断」の結果を別ウィンドウで表示する事で、行動目標設定の参考として使用可能にする。

HOME
ログアウト

メニュー

教育実践データベース 検索

検索

※キーワード検索

新規登録

指導案	実践記録	紀要
------------	-------------	-----------

2013.03.05	編集
2013.02.21	編集

■概要

指導案や、実践記録、紀要をデータベースに登録して検索・閲覧するための機能。

■検索

キーワードでデータベースを検索する機能。

検索対象は以下とする

タイトル 教科 対象学年 概要

■カテゴリ

以下の3つのカテゴリを設定する。

「指導案」「実践記録」「紀要」

■新規登録

指導案や、実践記録、紀要の新規登録画面を表示する。

■一覧表示

・登録済みの指導案や、実践記録、紀要を新着順に一覧で表示する。

・リンククリックにより、当該記事の詳細ページを表示する。

・編集ボタン押下により、対象のデータの編集画面を表示する。

■カテゴリ切替

新着情報の上部の「指導案」「実践記録」「紀要」を押下する事で、表示する新着情報のカテゴリを切り替える。

HOME
ログアウト

メニュー

編集

カテゴリ	指導案
教科名	算数
作成者	XXXXX
キーワード	XXXXX XXXXX

内容

.....

.....

添付ファイル

.....

.....

■ 概要

指導案や、実践記録の詳細ページ。

■ 編集

編集ボタン押下で当該記事の編集画面を表示する。

■ 表示項目

- ・カテゴリ
- ・教科名
- ・作成者
- ・キーワード
- ・内容
- ・添付ファイル

■ 添付ファイル

添付ファイルリンク押下により、ファイルを表示またはダウンロードする。

HOMEログアウト

メニュー

カテゴリ	<input type="text"/>
教科名	<input type="text"/>
作成者	<input type="text"/>
キーワード	<input type="text"/>

内容

添付ファイル

■概要

指導案や、実践記録の新規登録・編集を行う。

■編集項目

- ・カテゴリ
ド롭ダウンリストから「指導案」「実践記録」を選択
※「紀要」選択時は、紀要の登録画面が表示される。
- ・教科名
以下の教科をド롭ダウンリストから選択
小学校 国語 社会 数学 理科 英語 音楽 美術 保健体育 技術 家庭
- ・作成者
- ・キーワード
※キーワード検索にかけるためのキーワードを設定
- ・内容(テキスト)
- ・添付ファイル
※ローカルPCのファイルを選択

■登録

登録ボタン押下により入力されたデータをデータベースに登録

■キャンセル

入力内容、変更内容を破棄し、トップページに戻る。

HOME
ログアウト

メニュー

編集

指導案	実践記録	紀要
-----	------	----

タイトル	
その他のタイトル	
著者	
キーワード	
発行日	
学校名	

内容

.....

.....

添付ファイル

.....

.....

■概要
紀要の詳細ページ。

■編集
編集ボタン押下で当該記事の編集画面を表示する。

- 表示項目
- ・タイトル
 - ・その他タイトル
 - ・著者
 - ・キーワード
 - ・発行日
 - ・内容
 - ・添付ファイル

■添付ファイル
添付ファイルリンク押下により、ファイルを表示またはダウンロードする。

HOME

ログアウト

メニュー

カテゴリ	<input type="text" value="紀要"/>
タイトル	<input type="text"/>
その他タイトル	<input type="text"/>
著者	<input type="text"/>
キーワード	<input type="text"/>
発行日	<input type="text"/>
学校名	<input type="text"/>

内容

添付ファイル

<input type="text"/>	<input type="button" value="選択"/>
<input type="text"/>	<input type="button" value="選択"/>
<input type="text"/>	<input type="button" value="選択"/>

■概要

紀要の新規登録・編集を行う。

■編集項目

- ・カテゴリ
 - ※紀要が選択されている状態となる。
- ・その他項目
- ・キーワード
 - ※キーワード検索にかけるためのキーワードを設定
- ・内容(テキスト)
- ・添付ファイル
 - ※ローカルPCのファイルを選択

■登録

登録ボタン押下により入力されたデータをデータベースに登録

■キャンセル

入力内容、変更内容を破棄し、トップページに戻る。

ログアウト

新着一覧

NEW	2013.03.05	紀要
	2013.02.21	●● ●夫

新着一覧に表示するにチェックが入っているものを表示

検索

検索

※キーワード、タイトル、教員名から検索

管理メニュー部

■概要

管理者がログイン後に初期表示されるページ。管理機能へのリンクメニューと、自分の学校の教員の情報を検索、表示することができる。

■管理メニュー

- ・ユーザ管理 ユーザの新規登録、編集、削除をおこなう。
- ・お知らせ管理 自分の学校のユーザ(教員)のログインページにお知らせを掲載する。
- ・マスタ管理 各種マスタの修正・削除をおこなう。

- ・パスワード変更 ログインパスワードの変更をおこなう。

■新着一覧

- ・自分の学校のユーザが登録された場合、その情報を表示する。

■検索

- ・自分の学校のユーザの情報を検索することができる。

管理メニュー部は各機能画面で共通とし、以降の画面設計では「メニュー」と表記する。

検索結果一覧

HOME ログアウト

メニュー

検索

※キーワード、タイトル、教員名から検索

一覧

2013.03.05	□山 △美
2013.02.21	●● ●夫

タイトルクリックで
詳細画面へ

■概要

自分の学校のユーザの情報を検索するための機能

■検索

- ・キーワード、タイトル、教員名から、データベースを検索する機能
- ※検索対象はポートフォリオ

■一覧

- ・検索結果を一覧で表示する。タイトルをクリックすると詳細画面に遷移。
- ※遷移先の詳細ページで必要に応じてコメントを入れることができる。

HOMEログアウト

メニュー

1 年目	2 年目	3 年目	5 年目	10 年目	15 年目	20 年目	25 年目
---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------

個人目標

内容

教育実践歴

2013.03.05

2013.03.05

2013.03.05

反省・総括

内容

■概要

自分の学校の教員の教育実践歴に対して、コメントを入れる機能

■コメント

- ・コメントボタンを押下すると、入力フォームを表示する。
- ・「個人目標」、「反省・総括」に対し、コメントを付けることができる。

HOME ログアウト

メニュー

ユーザ検索

※教員名、IDから検索

結果一覧

□山 △美	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
●● ●夫	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

■概要

管理者が所属している学校のユーザ(教員)の情報を管理するための機能

■ユーザ検索

- ・キーワードとして教員の名前やIDを入力して検索ボタンを押下すると、対象の教員が表示される。
- ・苗字や名前、ID等のキーワードは部分一致で検索できるものとする。

■結果一覧

- ・ユーザ検索の検索結果を一覧で表示する。

－詳細

- ・ユーザの詳細情報を表示する。
- ・ユーザの詳細情報では、ユーザデータも閲覧可能とする。

－編集

- ・ユーザの情報を編集する。

－削除

- ・ユーザ情報を削除する。
- ・確認画面を入れ、誤操作によるユーザ削除を予防する。

HOME

ログアウト

メニュー

ユーザ情報部

ユーザデータ表示部

詳細

名前：鈴木 一郎

教員番号：abcd999

学校ID：xxxxxxxxxx

学校名：XXX小学校

編集

削除

教育実践歴

研修歴

資格、社会活動歴

校務分掌と学外での役職

生徒指導歴(含む保護者対応)

教師力診断

行動目標設定

教育実践データベース

■概要

管理者が所属している学校のユーザ(教員)の詳細情報を表示する。

■ユーザ情報部

- ・ユーザの名前、ログインID、学校ID、学校名を表示する。
- ・「編集」「削除」が可能。

■ユーザデータ表示部

- ・各ボタン押下により、ボタン名称に対応したユーザデータを表示する。
- ・教育実践歴の「その他」については、ユーザがデータを非表示とした場合は、表示しない。

HOMEログアウト

メニュー

編集

名前	<input style="width: 90%;" type="text"/>
教員番号	<input style="width: 90%;" type="text"/>
学校ID	<input style="width: 90%;" type="text"/>
Email	<input style="width: 90%;" type="text"/>
パスワード	<input style="width: 90%;" type="password"/>
パスワード (確認用)	<input style="width: 90%;" type="password"/>

■概要

ユーザ情報を編集するための機能。

■名前

- ・ユーザの名前をフルネームで入力

■教員番号

- ・ユーザの教員番号を入力

■学校ID

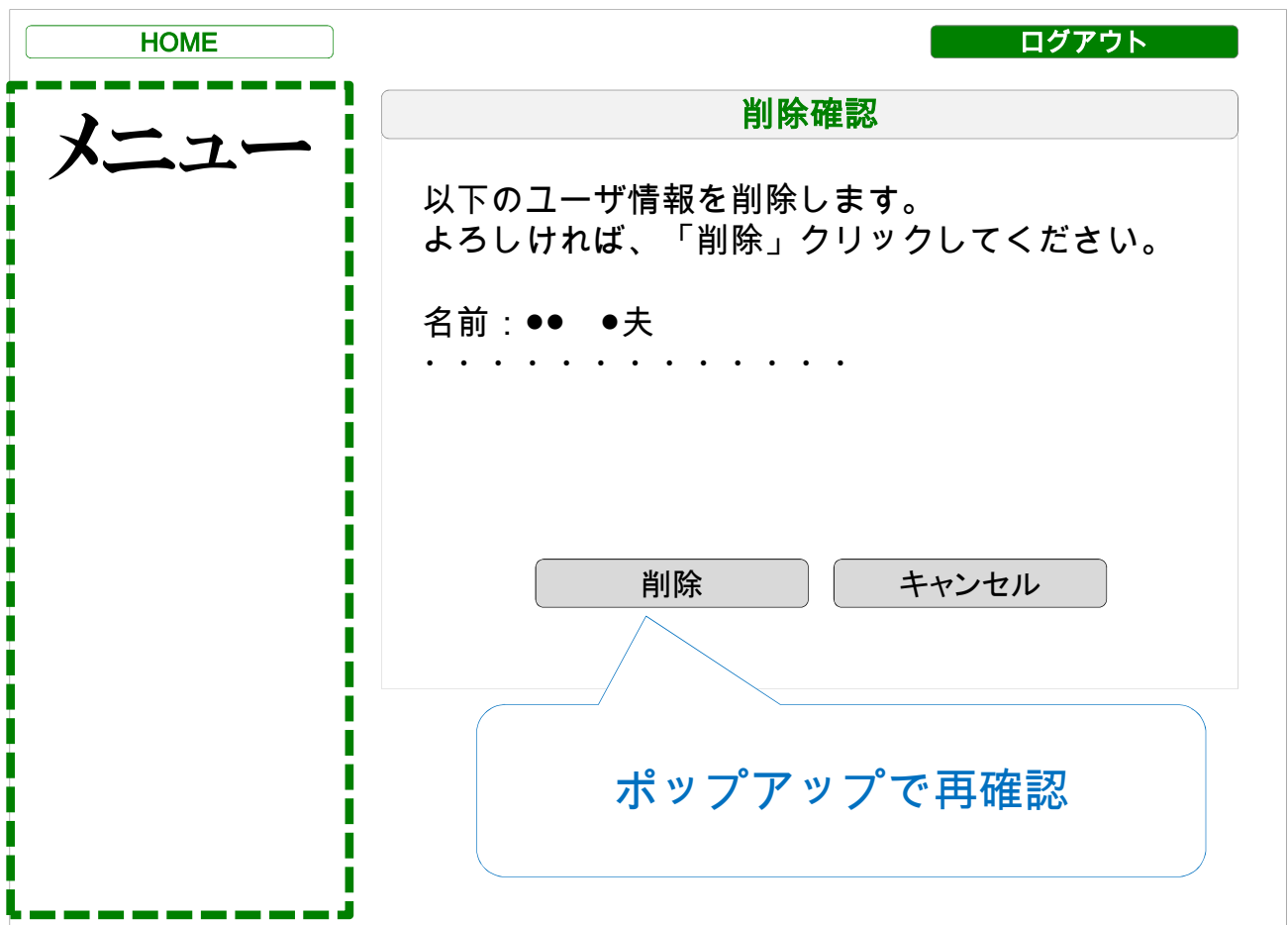
- ・ユーザが所属する学校の学校IDを入力

■Email

- ・ユーザが取得しているメールアドレスを入力

■パスワード

- ・ユーザのパスワードを変更する場合に入力
 - ・パスワード、パスワード(確認用)に同一のパスワードが入力された場合のみ、その文字列をユーザのパスワードとして設定する。
- ※未入力時は、パスワードの変更は行わない。



■概要

ユーザ情報を削除するための機能。

■削除

・削除ボタン押下時は、誤操作による削除を抑止するため、再確認画面を表示する。

■キャンセル

・削除を中止し、前の画面に戻る。

HOME ログアウト 新規

お知らせ一覧

2013.03.01	編集	削除
2013.03.01	編集	削除

■概要

自分の学校のユーザあてにお知らせを掲載する機能。
入力されたお知らせは、ユーザログイン時のトップページに「お知らせ」として表示される。

■新規

・お知らせを新規に登録する。ボタン押下により編集画面を表示

■編集

・登録済みのお知らせの内容を変更する。ボタン押下により編集画面を表示

■削除

・登録済みのお知らせを削除する。

HOME ログアウト

メニュー

編集

更新日

内容

■概要

お知らせを編集するための画面。

■更新日

・更新日を年月日で指定する。

■内容

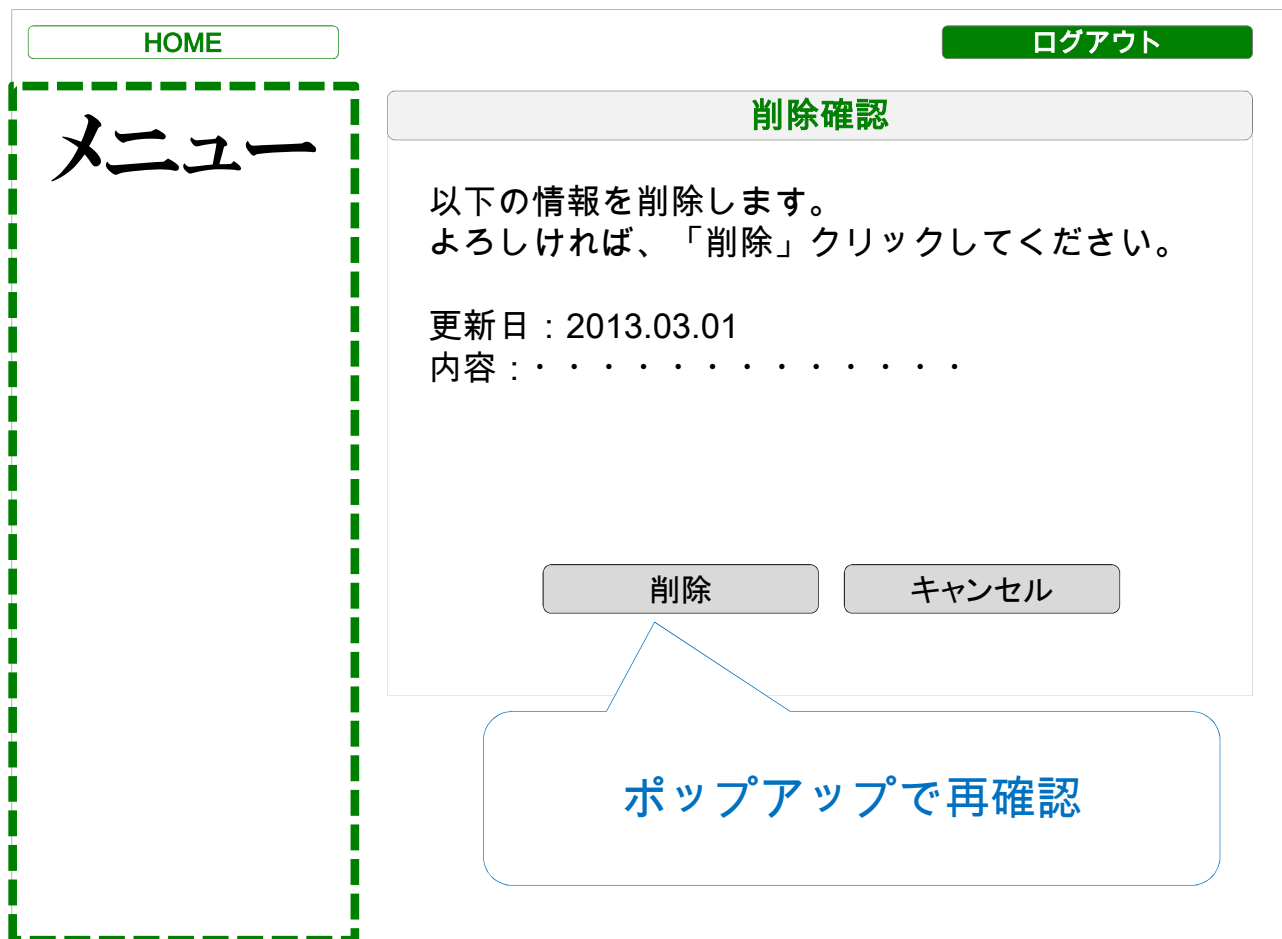
・お知らせの内容をテキストで入力する。

■登録

・入力されたお知らせをデータベースに登録する。

■キャンセル

・編集内容を破棄し、前のページに戻る。



■概要

お知らせ情報を削除するための機能。

■削除

- ・削除ボタン押下時は、誤操作による削除を抑止するため、再確認画面を表示する。

■キャンセル

- ・削除を中止し、前の画面に戻る。

マスタ管理

HOME ログアウト

メニュー

マスタ管理

マスタ選択 選んでください。

次へ

選んでください。
選んでください。
科目区分マスタ
科目評価マスタ
学年マスタ
大分類
中分類
小分類
科目マスタ
自己評価マスタ
教育実習レポート種別マスタ
介護体験レポート種別マスタ
都道府県マスタ
教科マスタ
中学教科マスタ
高校教科マスタ
自己判定マスタ

■概要

各種のマスタを管理する機能

■マスタ選択

- ・編集対象のマスタをドロップダウンリストから選択する。

■次へ

- ・選択したマスタの管理画面に遷移。

HOMEログアウト

メニュー

マスタ編集(学年マスタ)

コード	0	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
サブコード	0	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
名称		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
名称2		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
並び順	0	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

コード	サブコード	名称	名称2	並び順
1	0	1学年		1
2	0	2学年		2
3	0	3学年		3
4	0	4学年		4

■概要

各種のマスタのデータを編集するための機能

■入力項目

- ・コード
当該データのコード値を一意に設定する。
- ・サブコード
コードをさらに分割する場合に使用する。一意の値を設定する。
- ・名称
コードに対応する名称を設定する。
- ・名称2
名称に別名を付ける場合に使用する。
- ・並び順
表示時の並び順を設定する。

■登録

入力されたデータをデータベースに登録する。

■クリア

入力されたデータを全てクリアする。

■戻る

編集内容を破棄し、前のページに戻る。

教師力診断管理（管理者向け機能）

機能概要

- ・ 教師力診断の設問管理機能
- ・ 管理機能で年度、カテゴリ毎に設問の管理を行える
- ・ 設問は増減可能

カテゴリ管理画面（一覧）

教師力診断管理

カテゴリ管理

質問管理

カテゴリ一覧

新規追加

カテゴリ名	短縮名	並び順	編集
教職の専門性	教職の専門性	1	編集
実践的指導力	実践的指導力	2	編集
教材研究・指導技術・方法	教材研究・指導技術・方法	3	編集
子どもの理解と実践力	子どもの理解と実践力	4	編集
指導観構え	指導観構え	5	編集
家庭との連携	家庭との連携	6	編集

カテゴリ編集

教師力診断管理

カテゴリ管理

質問管理

カテゴリ編集

カテゴリ名

短縮名

並び順

登録

削除

キャンセル

教師力診断管理（管理者向け機能）

設問管理画面（一覧）

教師力診断管理

カテゴリ管理

質問管理

フォーム一覧

更新日	フォーム	編集
2014.03.07	1～4年目	編集
2014.03.07	5～9年目	編集
2014.03.07	10～15年目	編集
2014.03.07	16～20年目	編集
2014.03.07	21年目～	編集

設問編集画面

教師力診断管理

カテゴリ管理

質問管理

年数 1～4年目

教師力診断設問

教職の専門性

教職に対する責任感や探究力を身につけるよう努力をしている。

+ -

教育関連法規を学び、教員の社会的責務に関する理解を深め、信頼される存在を目指し、確かな判断力をもって行動しようとしている。

+ -

教育等に係る最新情報に常に触れ、課題意識を持つようとしている。

+ -

自主的に学び続ける努力をしている。

+ -

実践的指導力

生徒指導、学級経営等が機能し、教科指導を的確に実践している。

+ -

リスクマネジメントの能力を身に付けようとしている。

+ -

カテゴリ毎に質問を作成

設問の追加削除を行える

データ出力

- ・ 各機能にある印刷をデータ出力として使用する。
- ・ 出力データはCSVファイルを出力する。
(CSVファイルにすることによって出力後の加工を容易とする)
- ・ 教師力診断、週案作成ではPDFファイルとして出力するようにする。

トップページデザイン変更

デザイン変更内容

タイトルを「教育実践データベース」ひらめき先生のひろば」に変更し、より親しみやすく、サイトの目的を端的に伝えるよう工夫する。

タイトルを以下に変更

教育実践データベース
ひらめき先生のひろば

The screenshot shows the homepage of the Portal Website for Teachers. The design changes are highlighted with red boxes and callouts:

- Header:** The main title area is circled in red. The title is changed to "教育実践データベース ひらめき先生のひろば".
- Navigation Bar:** The navigation bar is highlighted with a red box. It includes a search bar, a login button, and a search button.
- Content Area:** The "News information" section is highlighted with a red box. The layout is changed to be more user-friendly.
- Footer:** The footer is highlighted with a red box. It includes the copyright notice and the site's purpose.

Copyright © Portal Website for Teachers. All Rights Reserved.

利用規約 | 個人情報保護方針 | お問い合わせ

基本的なレイアウトの変更は行わず、タイトルバー等の色合いを変更する。

「みんなに聞く」機能改修

目的

現状の「みんなに聞く」機能は掲示板形式で、各教科ごと自由入力で質問を投稿し、これに対し任意の閲覧者が回答する方式となっている。

自由度が高い分、どのような質問を投稿すればよいかわかりにくいいため、あまり有効活用されていないのが現状である。

そこで、ターゲットを作成された「指導案」の評価、コメントに絞ることでの投稿に対する敷居を下げるとともに、本システムの最大の目的である指導案作成力の向上の補助機能とする。

「みんなに聞く」機能改修

改修内容

「みんなに聞く」トップページ

確かな学力の育成に係る実践的調査研究
教育情報・黒板.net
portal website for teachers

ようこそ! サイト管理者様 | ログアウト | 管理メニュー
はじめに | よくある質問 (ヘルプ) | サイトマップ

Home 授業進行プラン 素材集 みんなに聞く 管理メニュー

MYトピック トピックスの作成 お気に入り一覧 登録

検索

検索オプション 開く

Top みんなに聞く (フォーラム)

公開済み指導案一覧

公開された指導案が閲覧できます。内容についてご意見や感想をお願いします。

タイトル	登録者	属性	更新日	コメント数
輸入食品の安全性	山田太郎	小1,理科	2014.02.14	2
輸入食品の安全性	山田太郎	小1,理科	2014.02.14	2
輸入食品の安全性	山田太郎	小1,理科	2014.02.14	2
輸入食品の安全性	山田太郎	小1,理科	2014.02.14	2
輸入食品の安全性	山田太郎	小1,理科	2014.02.14	2
輸入食品の安全性	山田太郎	小1,理科	2014.02.14	2
輸入食品の安全性	山田太郎	小1,理科	2014.02.14	2

■概要

作成された指導案で、「公開」されたものを一覧で表示する。

■コメント数

指導案へのコメント数を表示する。

「みんなに聞く」機能改修

改修内容

「みんなに聞く」指導案詳細ページ

ようこそ！サイト管理者様 | ログアウト | 管理メニュー
はじめに | よくある質問 (ヘルプ) | サイトマップ

確かな学力の育成に係る実践的調査研究
教育情報・黒板.net
portal website for teachers

授業進行プラン 素材集 みんなに聞く 管理メニュー

MYトピック トピックスの作成 お気に入り一覧 登録

検索

検索オプション 開く

Top みんなに聞く (フォーラム)

タイトル: 輸入食品の安全性【非表示】 印刷

本時のねらい: 食品が輸入される過程を学習して輸入品の安全性を知る！

主な活動	発問	児童・生徒の反応	素材	コツ・アイデア	追加資料
導入	店にある輸入品をあげてみる。 値段の高い国産と、やすい輸入品				
展開	1.輸入食品が日本に来るまで				
	2.ばなな				
	3.輸入品の安全				
まとめ					

● 評価の観点:

コメント投稿欄

投稿済みコメント表示

コメントする:

投稿

コメント

投稿者: 山田花子
2013/12/1 20:30

XX
XX

編集 削除

■概要

作成された指導案へのコメント高校機能

■コメント投稿

コメント投稿欄にコメントを記載し、「投稿ボタン」をクリックする事で投稿をおこなう。

■コメント表示

投稿者の名前、投稿日時、コメント内容を表示する

「編集」「削除」は投稿者、管理者のみ実施可能とする

文部科学省委託事業
「平成25年度教員の資質能力向上に係る先導的取組支援事業」
報告書

編著者 信州大学

発行者 信州大学
〒390-8621
長野県松本市旭3-1-1
TEL 0263-35-4600

発行日 平成26年3月31日

制作 株式会社コンテンツビジョン
〒380-0836
長野県長野市南県町680
TEL 026-238-7272